

**播磨町環境基本計画
アンケート調査 結果報告書**

令和2年 10 月

播 磨 町

目 次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査設計	1
3. 調査票回収状況	1
4. 報告書の見方	2
第2章 中学生アンケート	3
第3章 高校生アンケート	15
第4章 一般住民アンケート	24
第5章 事業所アンケート	39
第6章 各調査間の比較	51

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

播磨町では「播磨町環境基本計画」に基づき、地球環境や自然環境及び住民の生活環境をより良いものにしていくため、様々な取り組みを進めています。この計画が令和2年で目標年度を迎えることから、新たな環境基本計画の策定に向けて、播磨町の環境についての意見や要望を把握し、計画への反映及び策定するうえでの基礎資料とすることを目的に実施しました。

2. 調査設計

【中学生アンケート】

- ◇調査対象者：播磨町内の中学校2年生の生徒
- ◇調査期間：令和2年5月～7月31日
- ◇調査方法：学校配布・学校回収

【高校生アンケート】

- ◇調査対象者：兵庫県立播磨南高校2年生の生徒
- ◇調査期間：令和2年5月～7月31日
- ◇調査方法：学校配布・学校回収

【一般住民アンケート】

- ◇調査対象者：播磨町在住の20歳以上の方
- ◇調査期間：令和2年5月～7月31日
- ◇調査方法：郵送配布・郵送回収による記述方式

【事業所アンケート】

- ◇調査対象者：播磨町内の事業所を無作為抽出
- ◇調査期間：令和2年5月～7月31日
- ◇調査方法：郵送配布・郵送回収による記述方式

3. 調査票回収状況

	配布数	有効回収数	有効回答率
中学生アンケート	318 件	298 件	93.7%
高校生アンケート	210 件	185 件	88.1%
一般住民アンケート	1,000 件	409 件	40.9%
事業所アンケート	334 件	143 件	42.8%

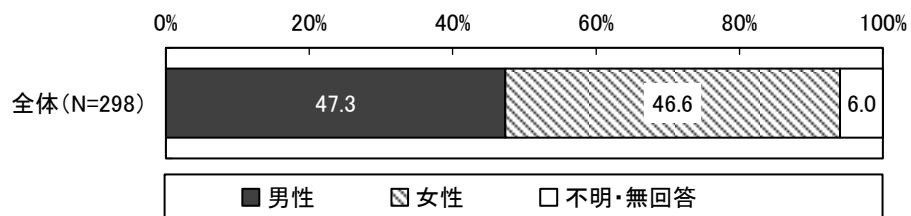
4. 報告書の見方

- 回答結果は、有効サンプル数に対して、それぞれの回答の占める割合を示しています。小数点第2位以下を四捨五入しているため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、調査結果の分析文、グラフにおいても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの回答の占める割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において、「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- グラフのN（number of case）は、有効標本数（集計対象者総数）を表しています。

第2章 中学生アンケート

問1 性別

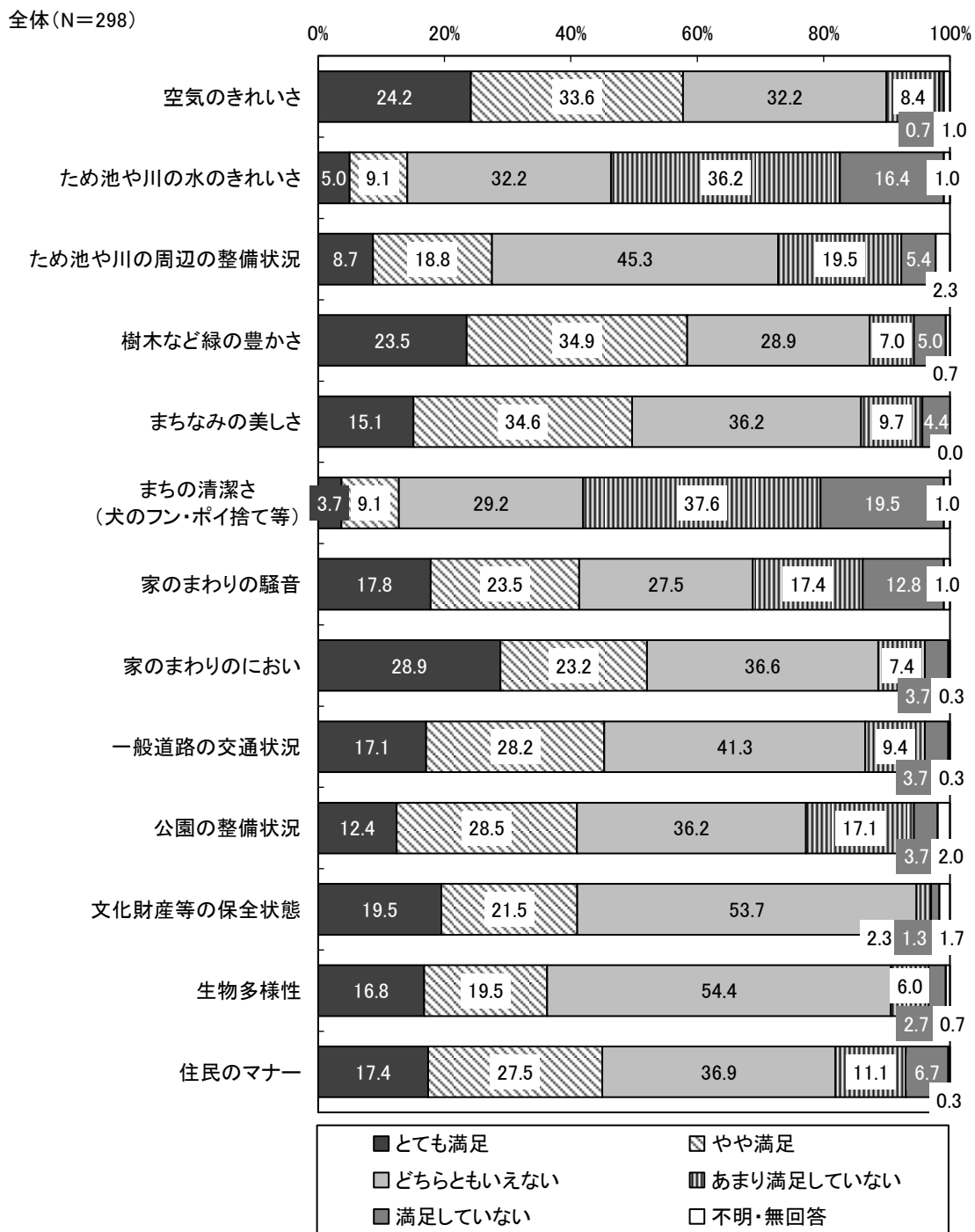
性別についてみると、「男性」が47.3%、「女性」が46.6%となっています。



問2 あなたは、お住まいの地域を中心とした環境に関する項目について、どの程度満足されていますか。また、将来の播磨町全体の環境にとって、どの程度関心がありますか。（「満足度」、「関心度」の両方でそれぞれ1つだけに○）

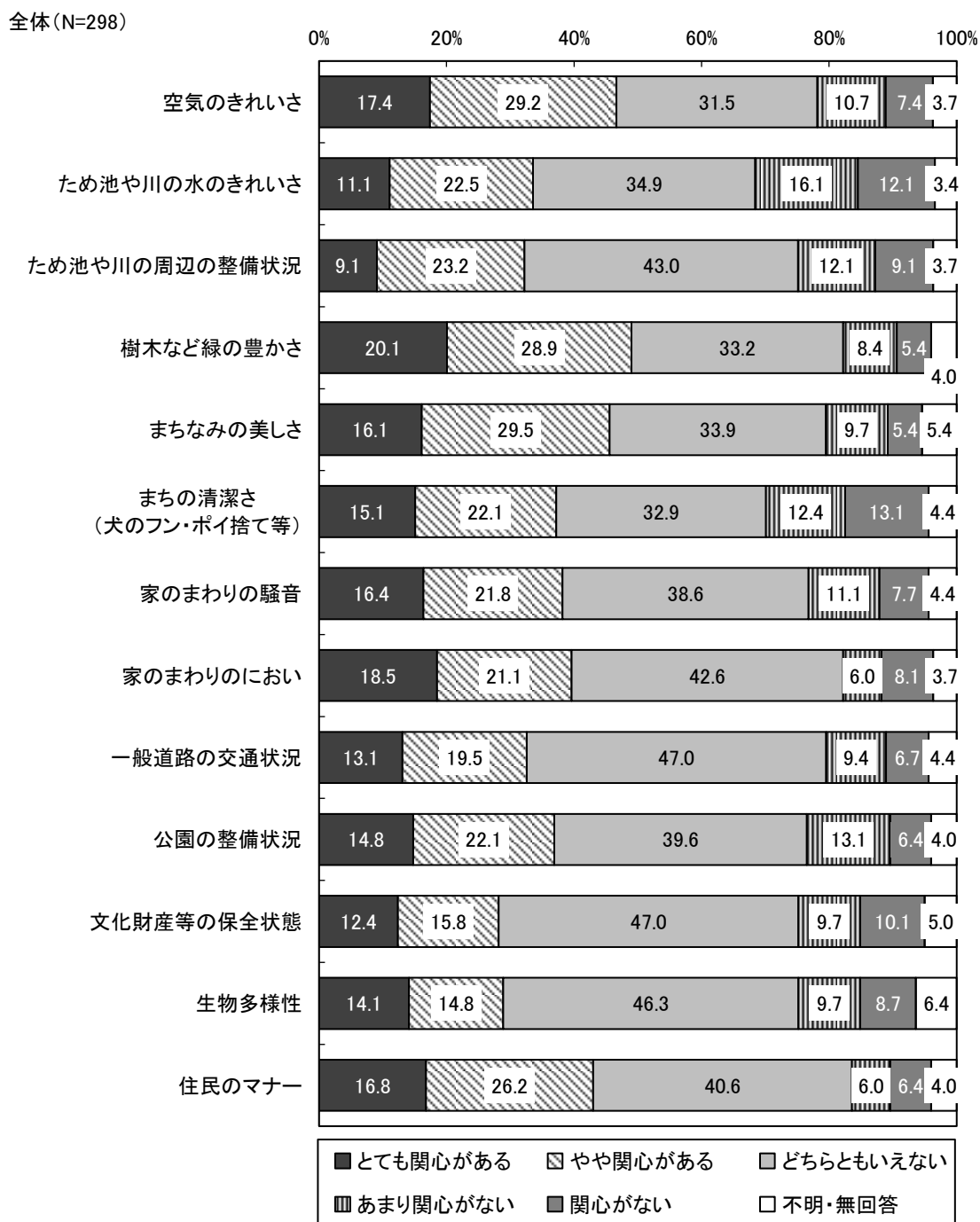
満足度

環境に関する満足度についてみると、『満足（「とても満足」と「やや満足」の合計）』では、[空気のきれいさ][樹木など緑の豊かさ][家のまわりのにおい]で5割台となっています。『満足していない（「あまり満足していない」と「満足していない」の合計）』では、[ため池や川の水のきれいさ][まちなみのきれいさ]で5割台となっています。



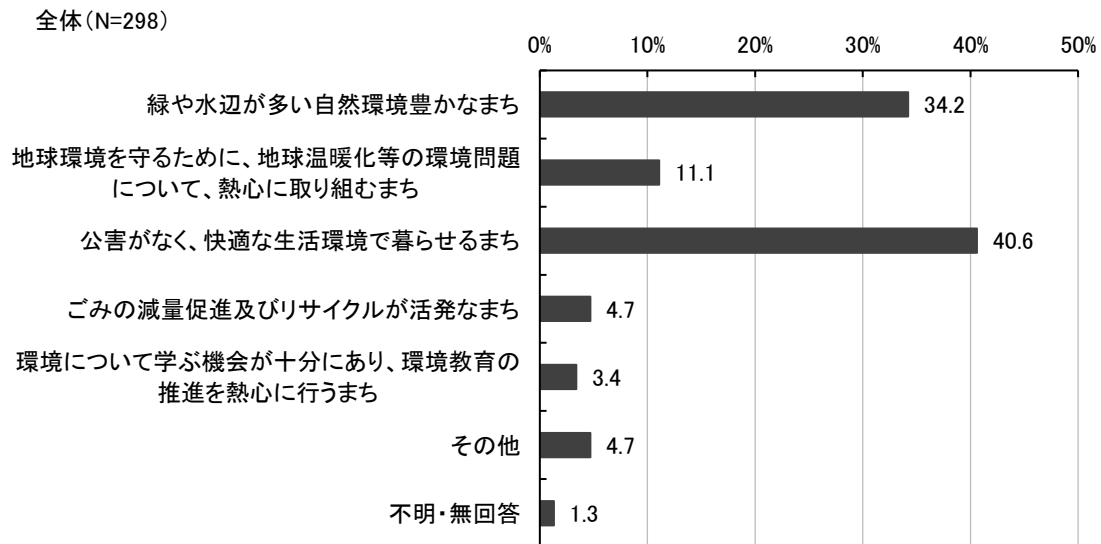
関心度

環境に関する関心度についてみると、『関心がある（「とても関心がある」と「やや関心がある」の合計）』では、[空気のきれいさ][樹木など緑の豊かさ][まちなみの美しさ][住民のマナー]で4割台となっています。『関心がない（「あまり関心がない」と「関心がない」の合計）』では、[ため池や川の水のきれいさ][ため池や川の周辺の整備状況][まちの清潔さ（犬のフン・ポイ捨て等）]で2割台となっています。



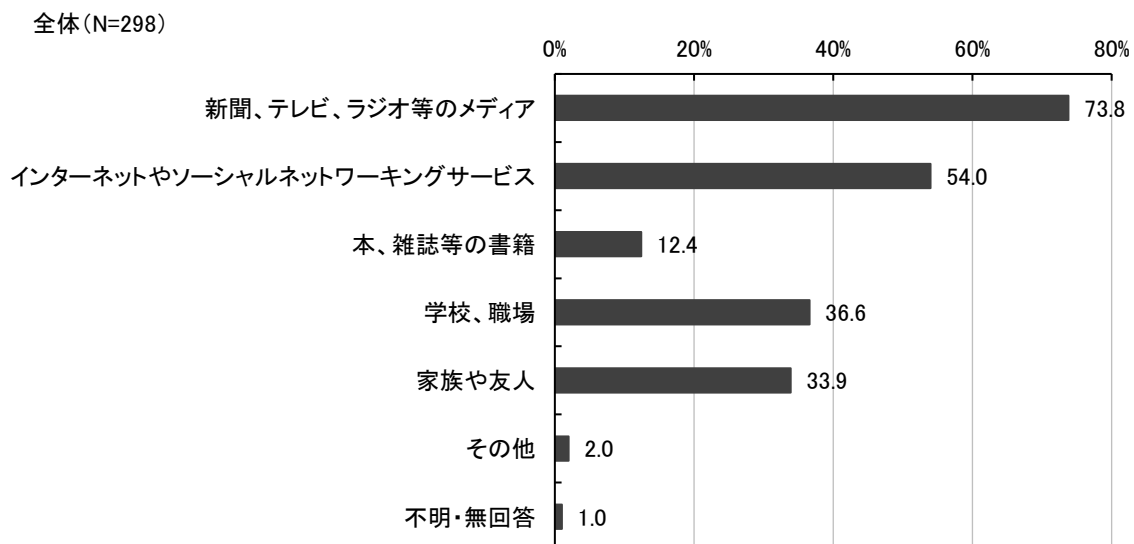
問3 将来、播磨町をどのような環境のまちにしていきたいですか。(1つに○)

将来、播磨町をどのような環境のまちにしていきたいかについてみると、「公害がなく、快適な生活環境で暮らせるまち」が40.6%と最も高く、次いで「緑や水辺が多い自然環境豊かなまち」が34.2%となっています。



問4 環境問題に関する情報を、あなたはどこから得ていますか。(複数回答可)

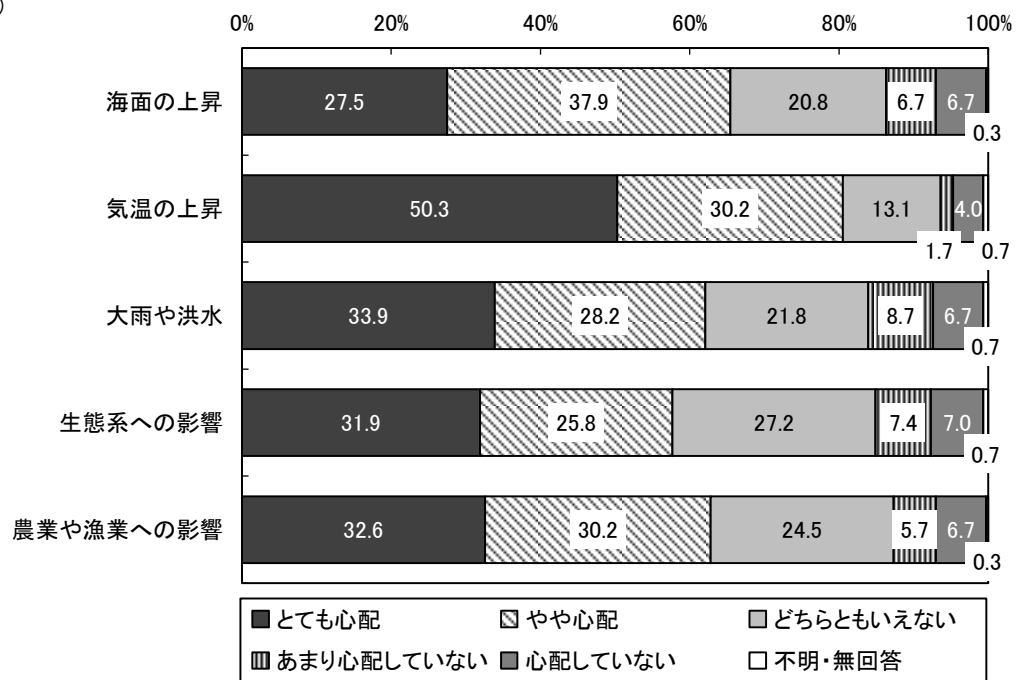
環境問題に関する情報源についてみると、「新聞、テレビ、ラジオ等のメディア」が73.8%と最も高く、次いで「インターネットやソーシャルネットワーキングサービス」が54.0%となっています。



問5 地球温暖化が進むことによって及ぼす影響についてあなたはどの程度、心配していますか。(それぞれ1つだけに○)

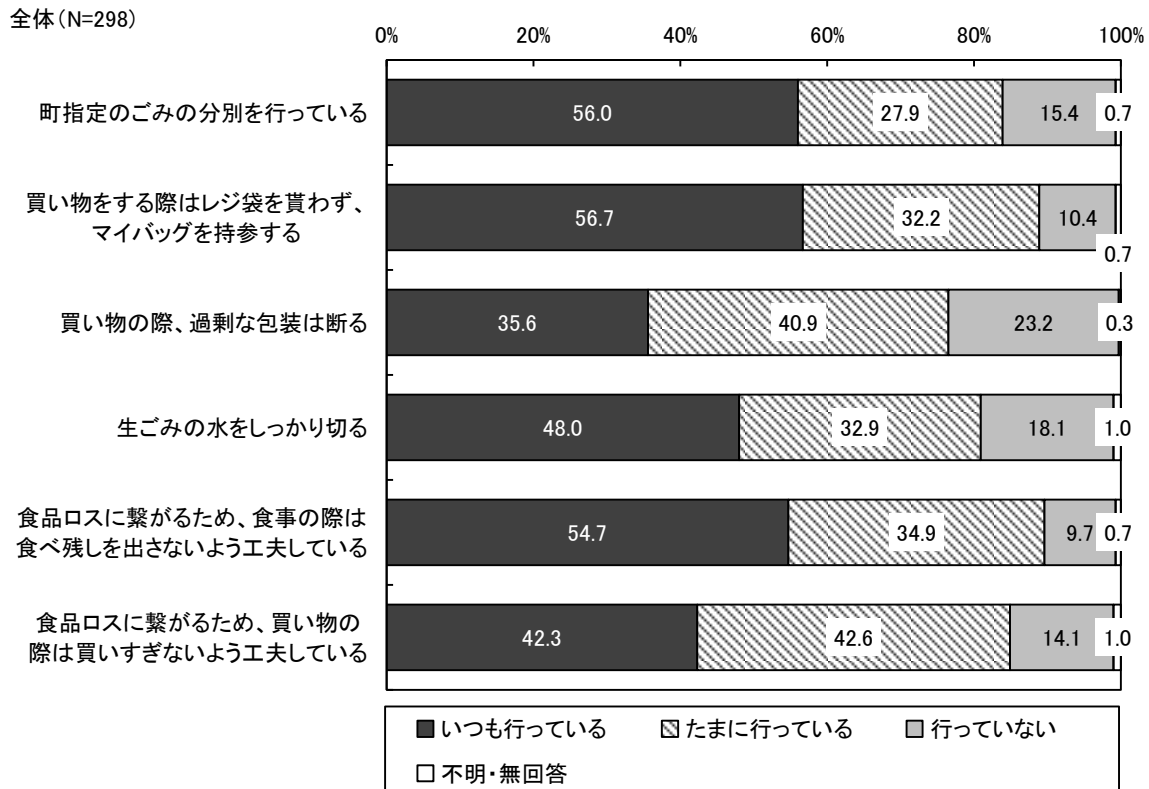
地球温暖化が及ぼす影響を、どの程度心配しているかについてみると、『心配(「とても心配」と「やや心配」の合計)』では、[気温の上昇]で8割台となっています。『心配していない(「あまり心配していない」と「心配していない」の合計)』では、[海面の上昇][大雨や洪水][生態系への影響][農業や漁業への影響]で1割台となっています。

全体(N=298)



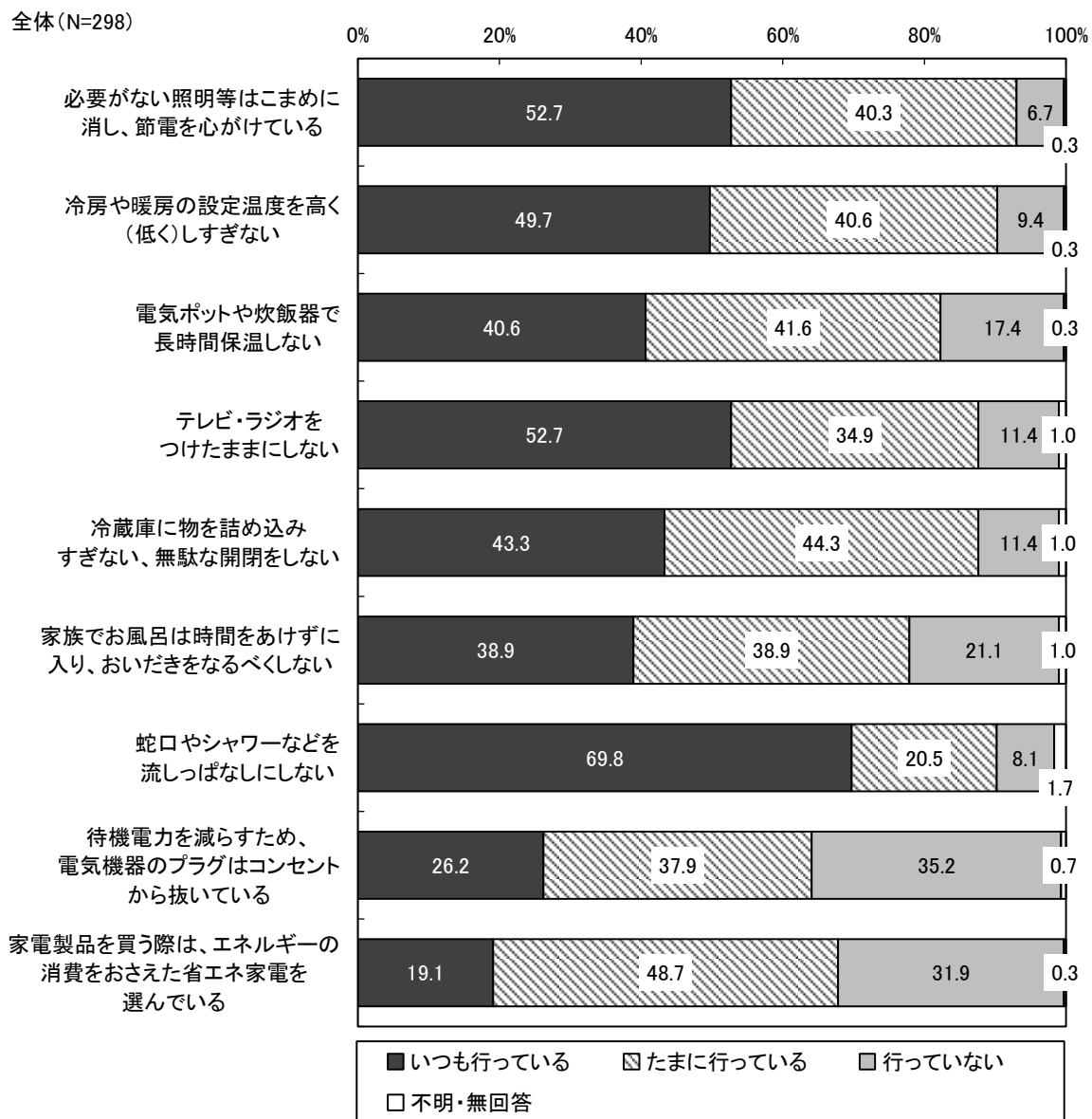
問6 ごみ減量・資源化は大切な取り組みですが、あなたは日頃、どの程度実施していますか。(それぞれ1つだけに○)

ごみ減量・資源化を日頃どの程度実施しているかについてみると、『行っている（「いつも行っている」と「たまに行っている」の合計）』では、[買い物をする際はレジ袋を貰わず、マイバッグを持参する][食品ロスに繋がるため、食事の際は食べ残しを出さないよう工夫している]で約9割となっています。「行っていない」では、[買い物の際、過剰な包装は断る]で2割台となっています。



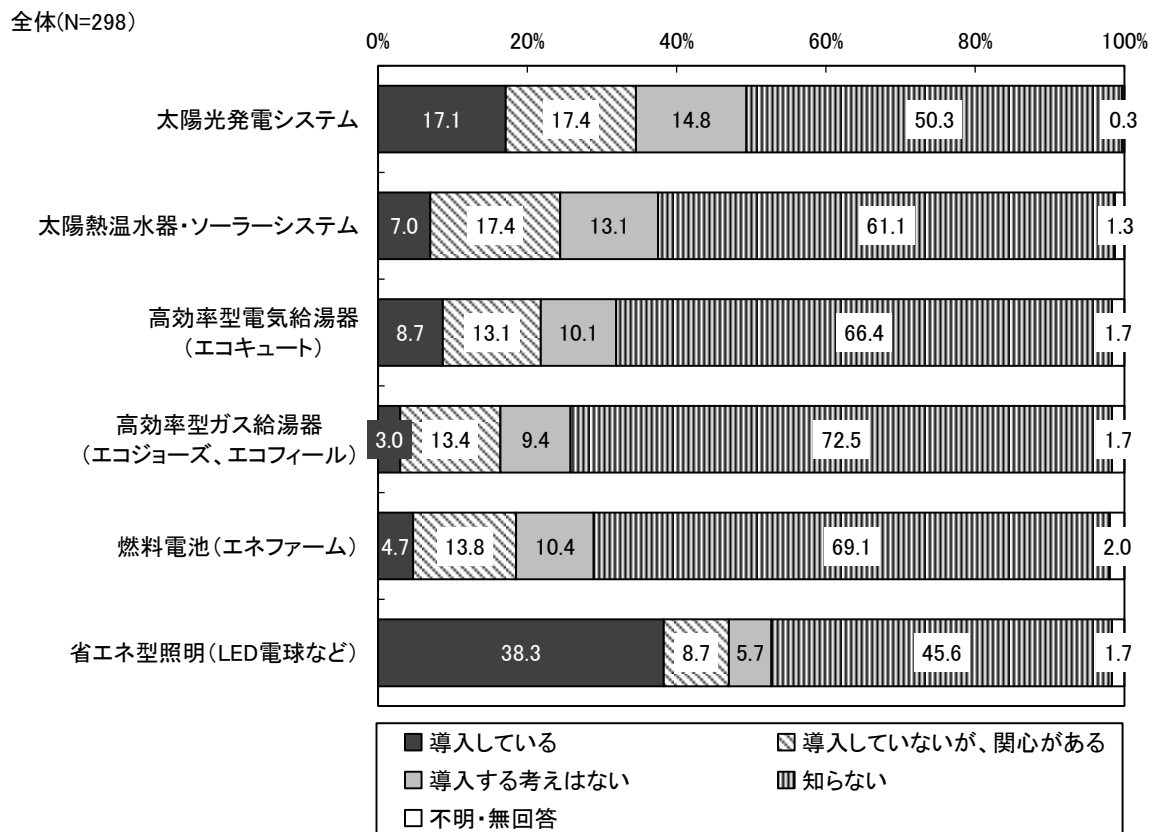
問7 省エネルギー活動は地球温暖化を防止するうえで大切な取り組みですが、あなたは日頃、どの程度実施していますか。(それぞれ1つだけに○)

省エネルギー活動を日頃どの程度実施しているかについてみると、『行っている（「いつも行っている」と「たまに行っている」の合計）』では、[必要がない照明等はこまめに消し、節電を心がけている] [冷房や暖房の設定温度を高く（低く）しすぎない] [蛇口やシャワーなどを流しっぱなしにしない] で9割台となっています。「行っていない」では、[待機電力を減らすため、電気機器のプラグはコンセントから抜いている] [家電製品を買う際は、エネルギーの消費をおさえた省エネ家電を選んでいる] で3割台となっています。



問8 ご家庭で、再生可能エネルギー設備や省エネルギー機器を利用していますか。または導入することをお考えですか。(それぞれ1つだけに○)

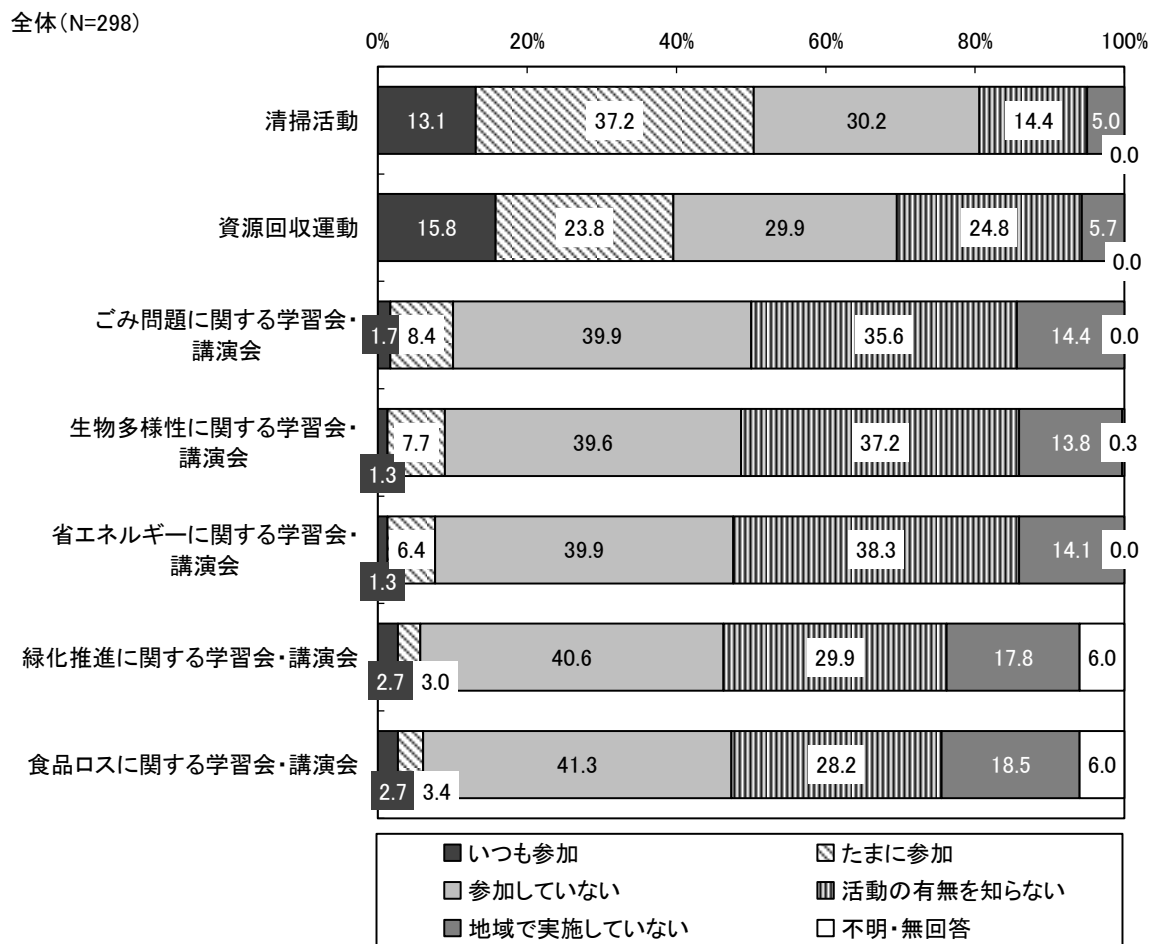
家庭で再生可能エネルギー設備や省エネルギー機器を導入しているかについてみると、『「導入している」と「導入していないが、関心がある」の合計』では、〔省エネ型照明（LED電球など）〕で4割台、〔太陽光発電システム〕で3割台となっています。「知らない」では、〔高効率型ガス給湯器（エコジョーズ、エコフィール）〕で7割台となっています。



問9 地域での環境活動について、どの程度参加されていますか。また、どの程度関心がありますか。（「参加度」、「関心度」の両方でそれぞれ1つだけに○）

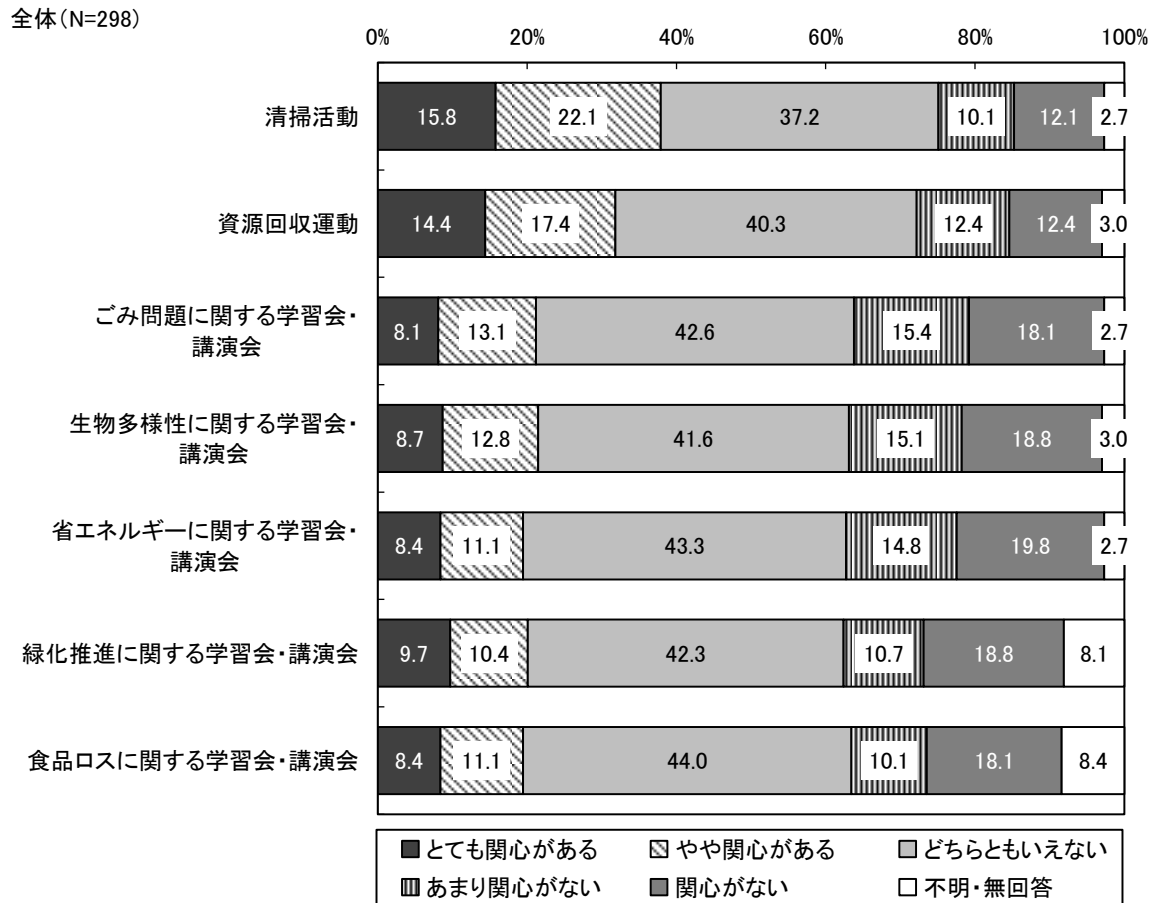
参加度

地域での環境活動への参加度についてみると、『参加（「いつも参加」と「たまに参加」の合計）』では、〔清掃活動〕で5割台、〔資源回収運動〕で3割台となっています。「参加していない」では、〔緑化推進に関する学習会・講演会〕〔食品ロスに関する学習会・講演会〕で4割台となっています。「活動の有無を知らない」では、〔ごみ問題に関する学習会・講演会〕〔生物多様性に関する学習会・講演会〕〔省エネルギーに関する学習会・講演会〕で3割台となっています。



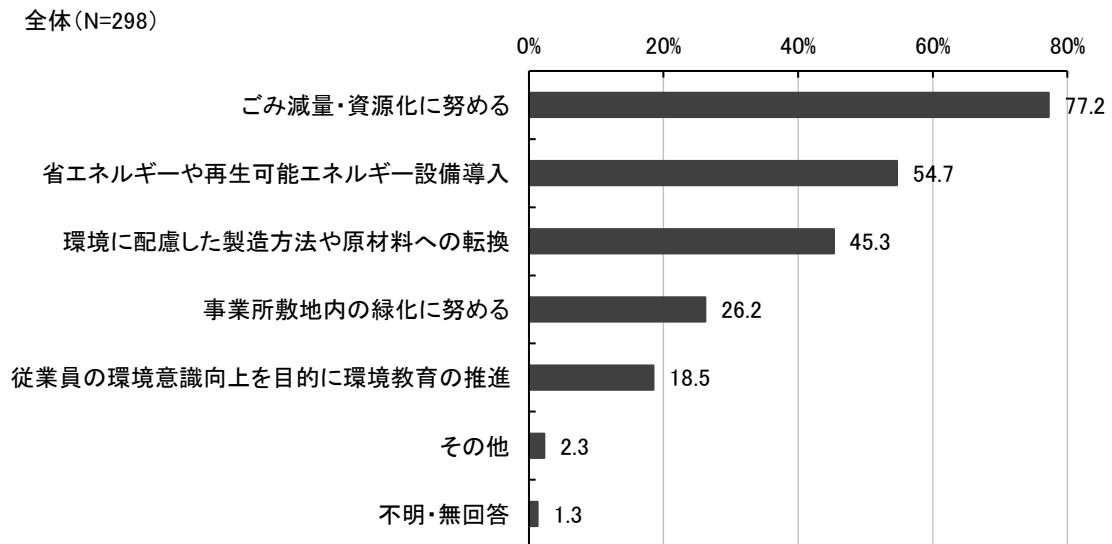
関心度

地域での環境活動への関心度についてみると、『関心がある（「とても関心がある」と「やや関心がある」の合計）』では、〔清掃活動〕〔資源回収運動〕で3割台となっています。『関心がない（「あまり関心がない」と「関心がない」の合計）』では、〔ごみ問題に関する学習会・講演会〕〔生物多様性に関する学習会・講演会〕〔省エネルギーに関する学習会・講演会〕で3割台となっています。



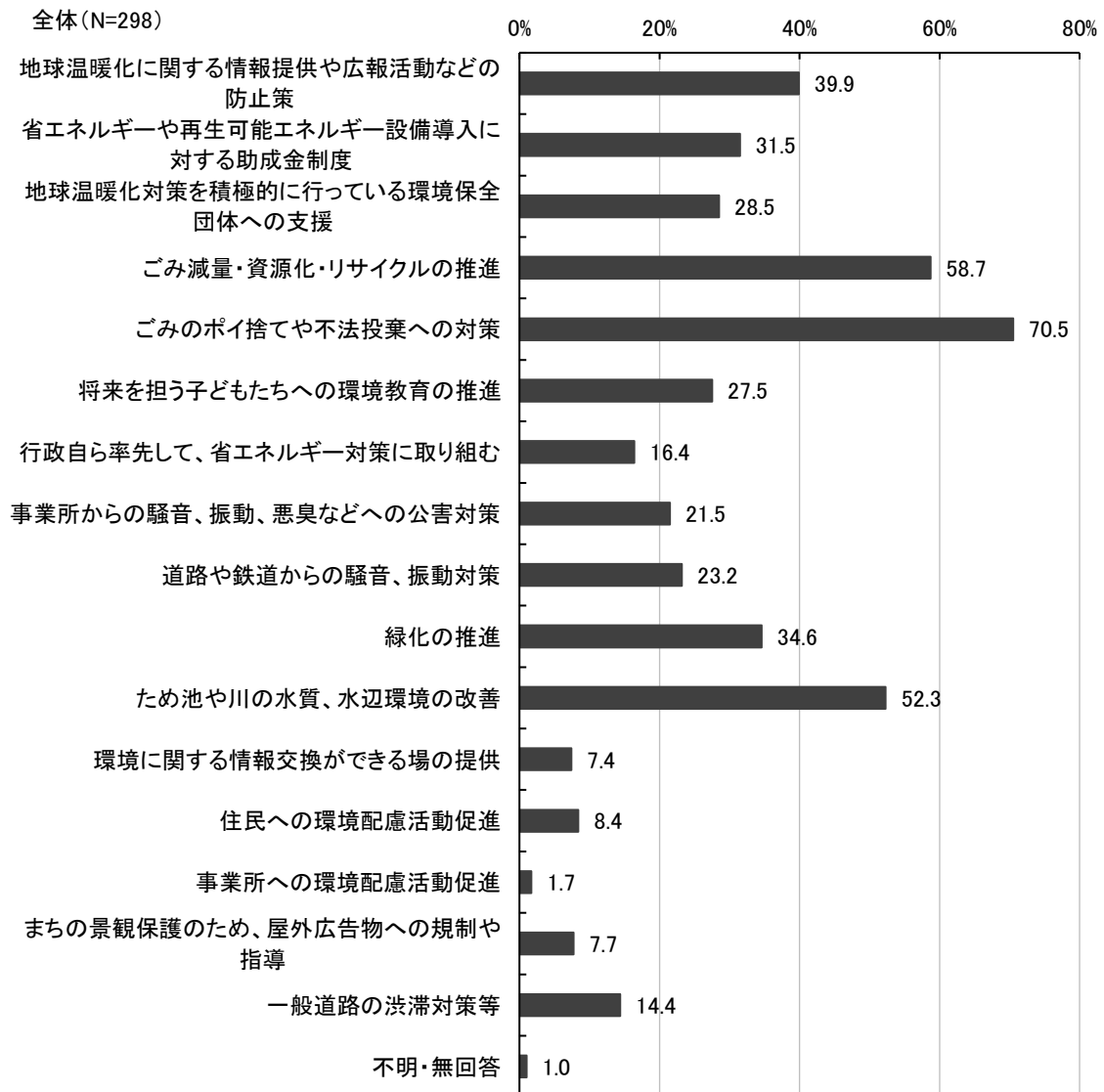
問 10 環境問題について、事業者が特に取り組むべきだと思う施策を次の中から選んでください。(3つまで選択可)

環境問題に対して事業者が特に取り組むべき施策についてみると、「ごみ減量・資源化に努める」が 77.2%と最も高く、次いで「省エネルギーや再生可能エネルギー設備導入」が 54.7%、「環境に配慮した製造方法や原材料への転換」が 45.3%となっています。



問 11 環境問題について、行政が特に取り組むべきだと思う施策を次の中から選んでください。(5つまで選択可)

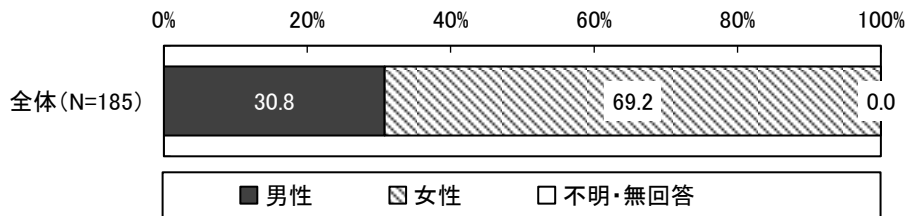
環境問題に対して行政が取り組むべき施策についてみると、「ごみのポイ捨てや不法投棄への対策」が70.5%と最も高く、次いで「ごみ減量・資源化・リサイクルの推進」が58.7%、「ため池や川の水質、水辺環境の改善」が52.3%となっています。



第3章 高校生アンケート

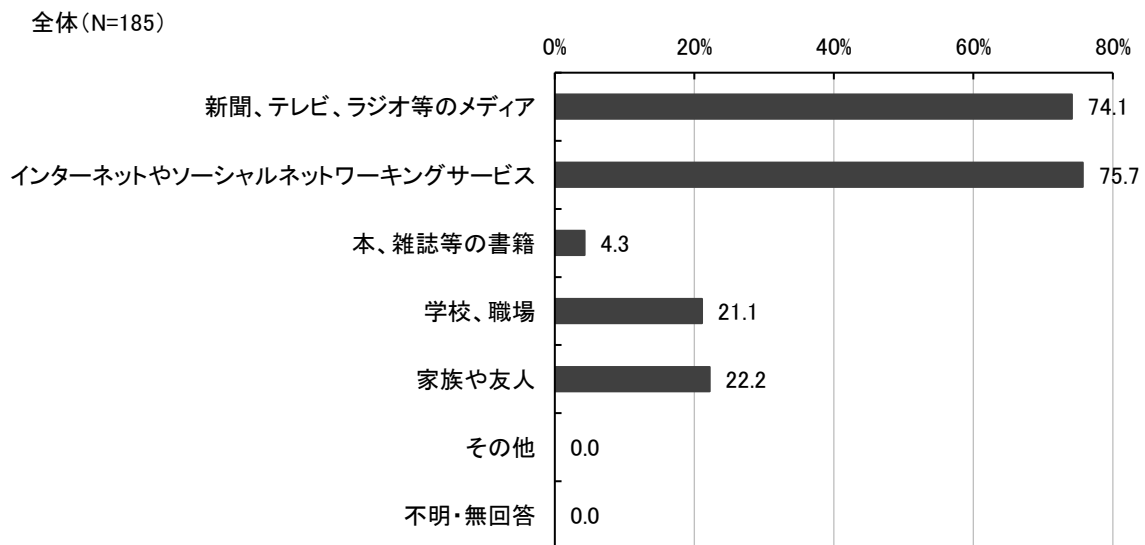
問1 性別

性別についてみると、「男性」が30.8%、「女性」が69.2%となっています。



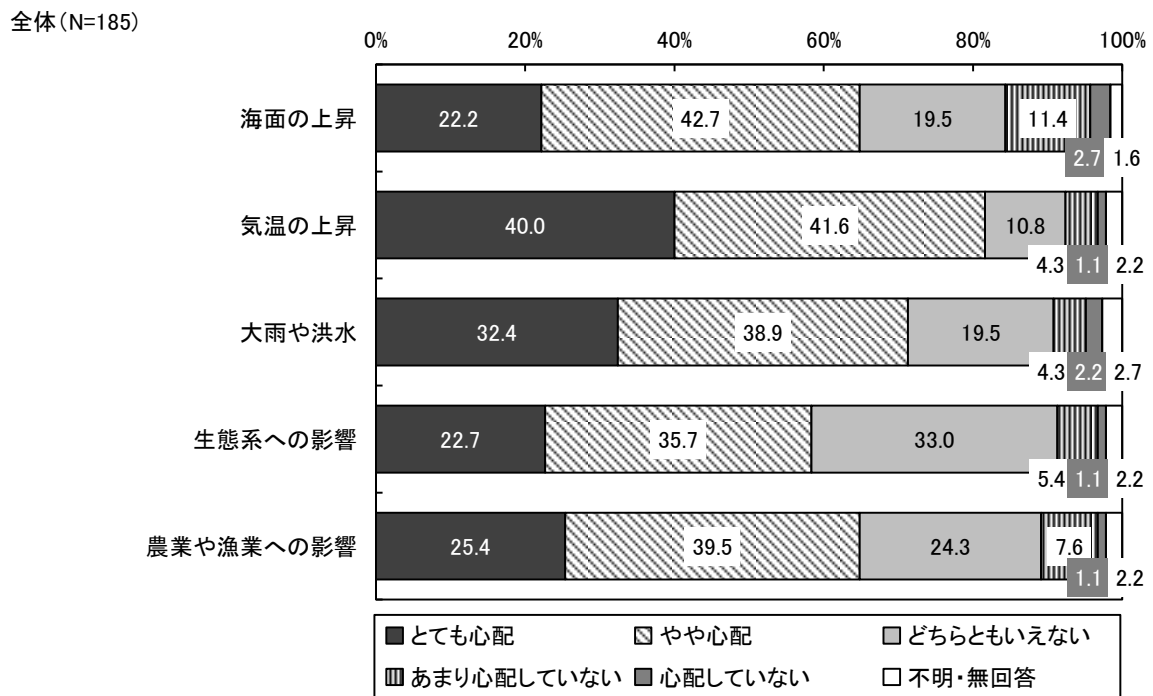
問2 環境問題に関する情報を、あなたはどこから得ていますか。(複数回答可)

環境問題に関する情報源についてみると、「インターネットやソーシャルネットワーキングサービス」が75.7%と最も高く、次いで「新聞、テレビ、ラジオ等のメディア」が74.1%となっています。



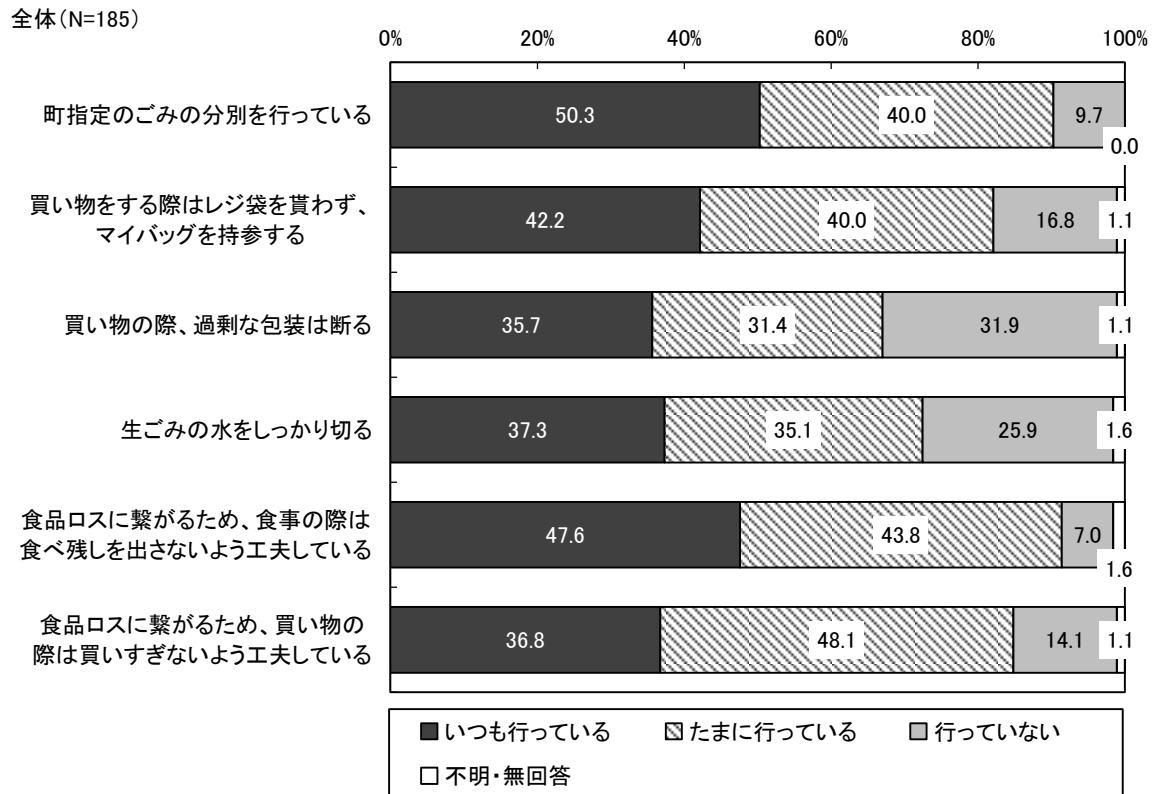
問3 地球温暖化が進むことによって及ぼす影響についてあなたはどの程度、心配していますか。(それぞれ1つだけに○)

地球温暖化が及ぼす影響を、どの程度心配しているかについてみると、『心配（「とても心配」と「やや心配」の合計）』では、[気温の上昇]で8割台、[大雨や洪水]で7割台となっています。『心配していない（「あまり心配していない」と「心配していない」の合計）』では、[海面の上昇]で1割台となっています。



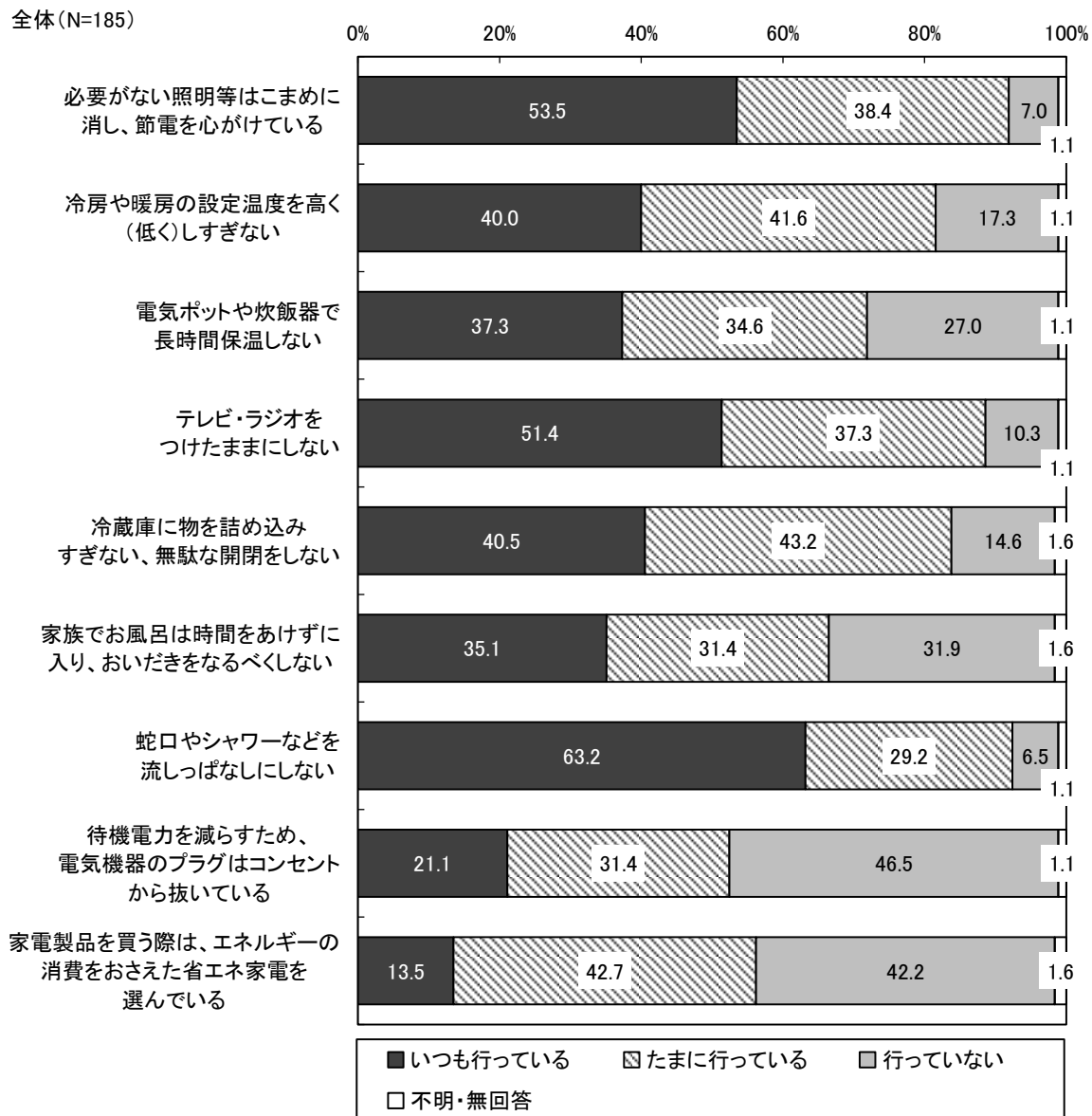
問4 ごみ減量・資源化は大切な取り組みですが、あなたは日頃、どの程度実施していますか。(それぞれ1つだけに○)

ごみ減量・資源化を日頃どの程度実施しているかについてみると、『行っている（「いつも行っている」と「たまに行っている」の合計）』では、[町指定のごみの分別を行っている][食品ロスに繋がるため、食事の際は食べ残しを出さないよう工夫している]で9割台となっています。「行っていない」では、[買い物の際、過剰な包装は断る]で3割台、[生ごみの水をしっかり切る]で2割台となっています。



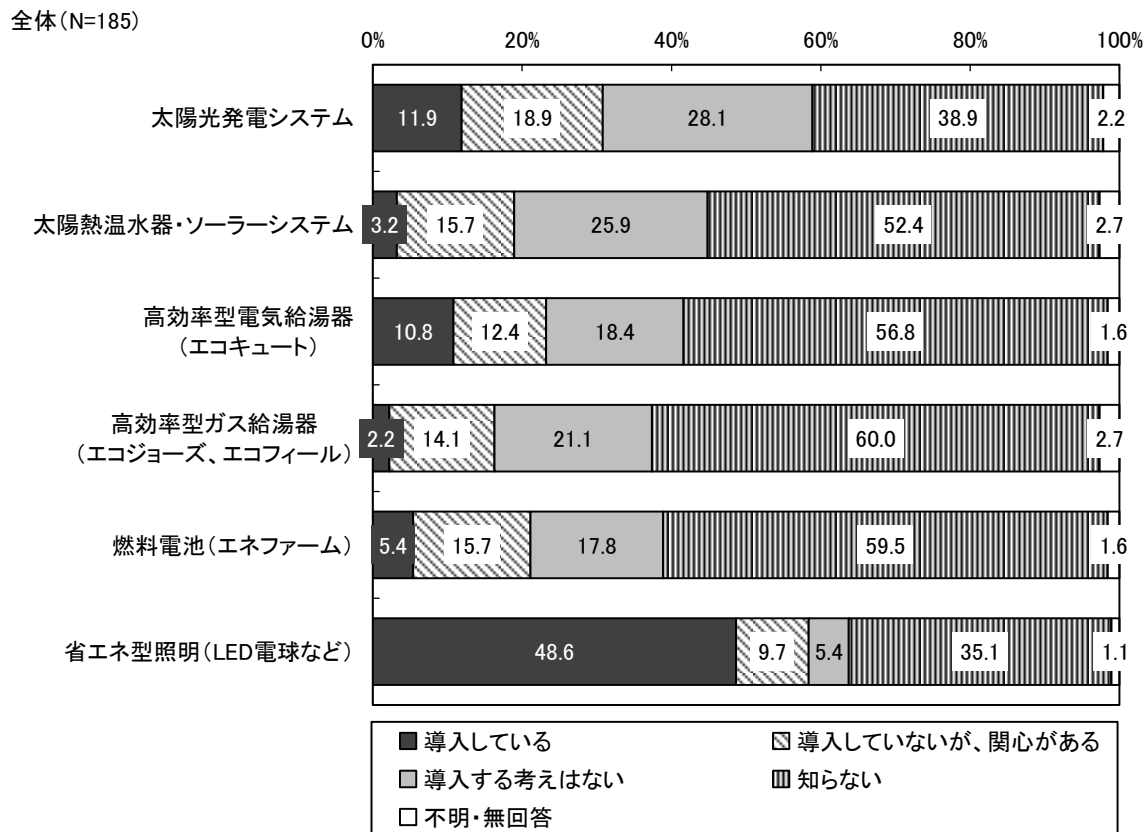
問5 省エネルギー活動は地球温暖化を防止するうえで大切な取り組みですが、あなたは日頃、どの程度実施していますか。(それぞれ1つだけに○)

省エネルギー活動を日頃どの程度実施しているかについてみると、『行っている（「いつも行っている」と「たまに行っている」の合計）』では、[必要がない照明等はこまめに消し、節電を心がけている] [蛇口やシャワーなどを流しっぱなしにしない] で9割台となっています。「行っていない」では、[待機電力を減らすため、電気機器のプラグはコンセントから抜いている] [家電製品を買う際は、エネルギーの消費をおさえた省エネ家電を選んでいる] で4割台となっています。



問6 ご家庭で、再生可能エネルギー設備や省エネルギー機器を利用していますか。または導入することをお考えですか。(それぞれ1つだけに○)

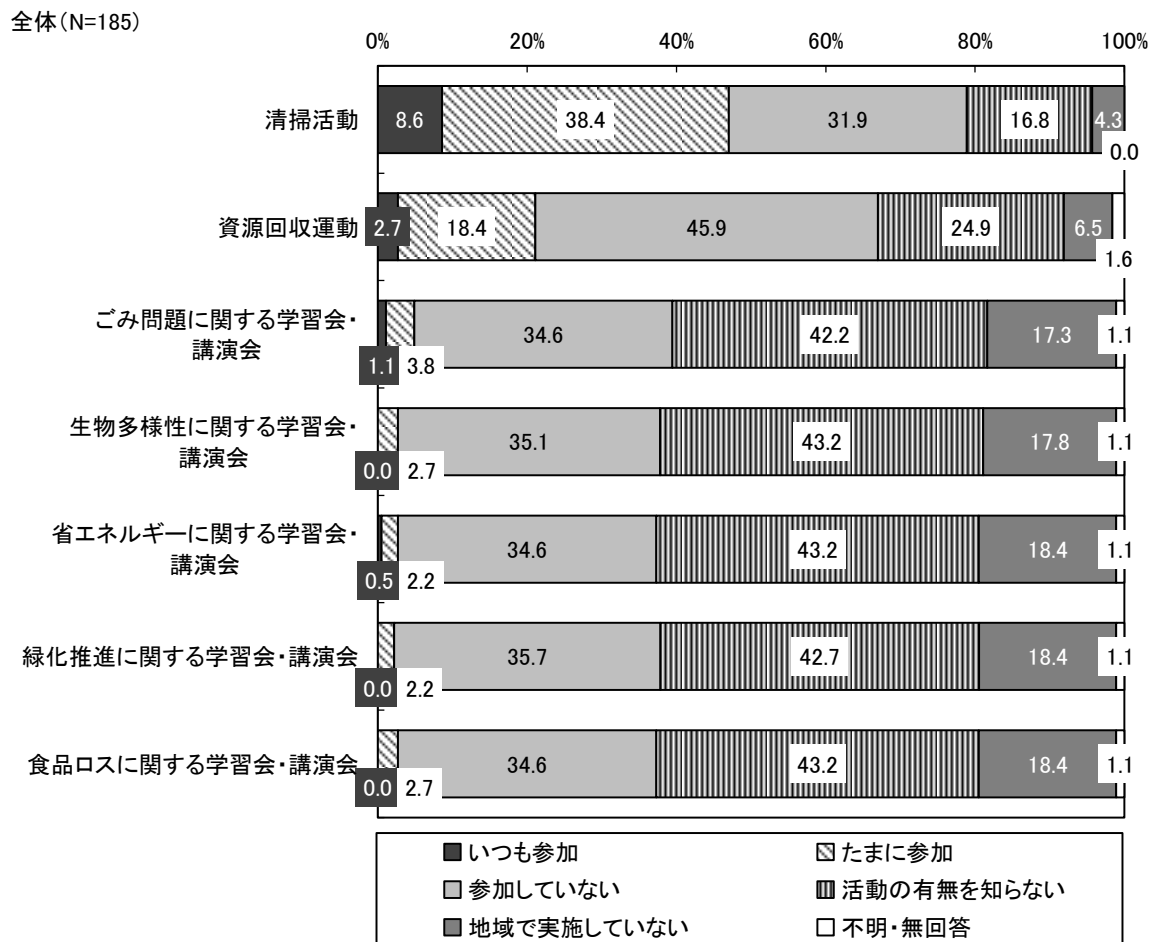
家庭で再生可能エネルギー設備や省エネルギー機器を導入しているかについてみると、『「導入している」と「導入していないが、関心がある」の合計』では、〔省エネ型照明（LED電球など）〕で5割台、〔太陽光発電システム〕で3割台となっています。「知らない」では、〔高効率型ガス給湯器（エコジョーズ、エコフィール）〕で6割台、〔太陽熱温水器・ソーラーシステム〕〔高効率型電気給湯器（エコキュート）〕〔燃料電池（エネファーム）〕で5割台となっています。



問7 地域での環境活動について、どの程度参加されていますか。また、どの程度関心がありますか。（「参加度」、「関心度」の両方でそれぞれ1つだけに○）

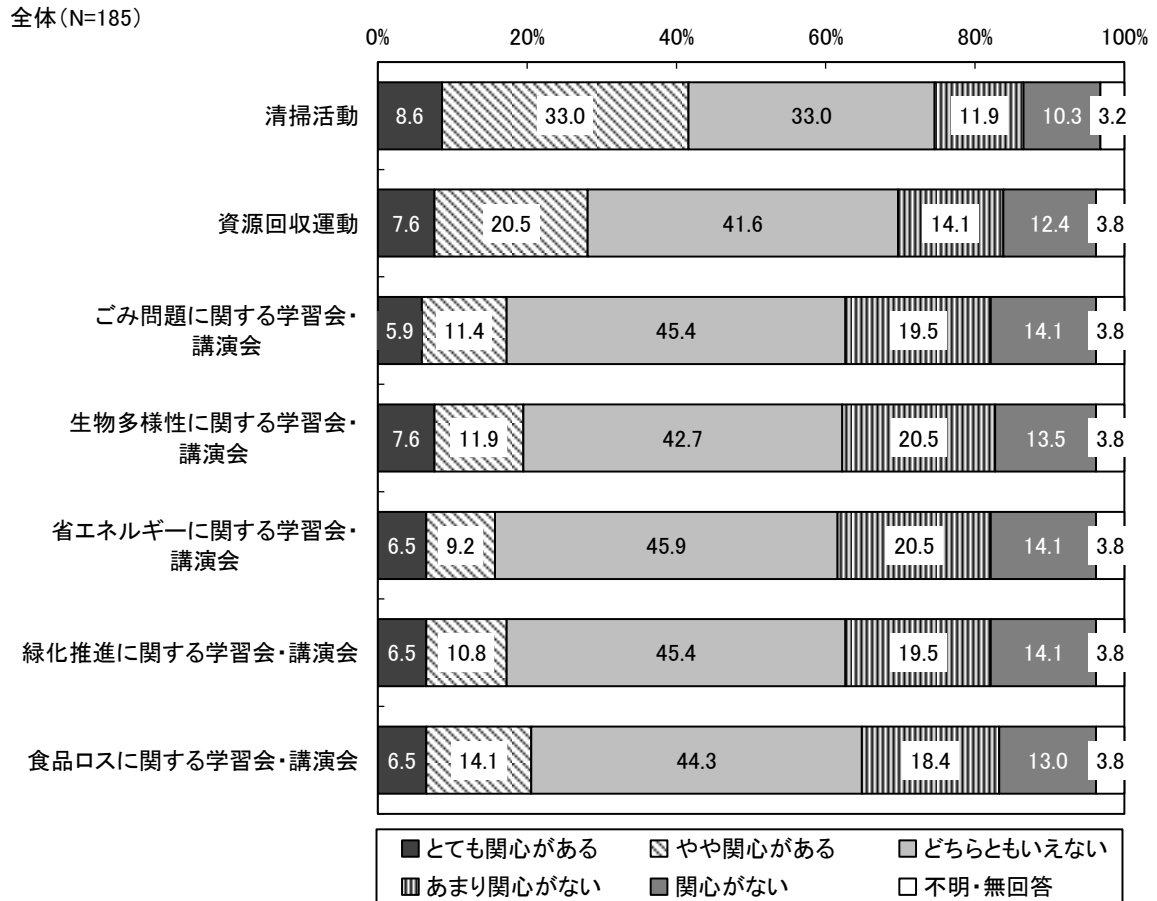
参加度

地域での環境活動への参加度についてみると、『参加（「いつも参加」と「たまに参加」の合計）』では、〔清掃活動〕で4割台、〔資源回収運動〕で2割台となっています。「参加していない」では、〔資源回収運動〕で4割台となっています。



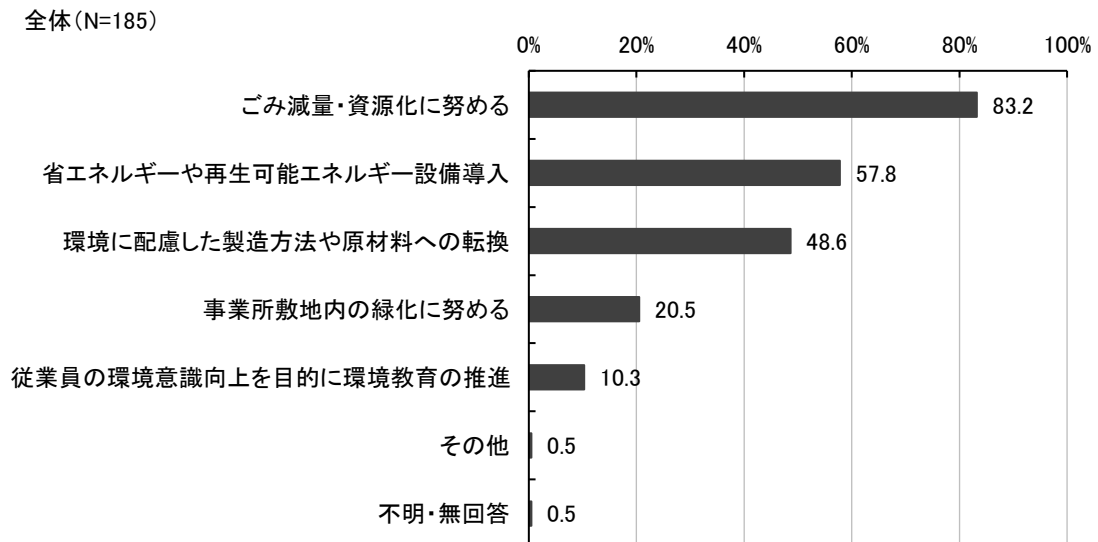
関心度

地域での環境活動への関心度についてみると、『関心がある（「とても関心がある」と「やや関心がある」の合計）』では、〔清掃活動〕で4割台、〔資源回収運動〕〔食品ロスに関する学習会・講演会〕で2割台となっています。『関心がない（「あまり関心がない」と「関心がない」の合計）』では、〔ごみ問題に関する学習会・講演会〕〔生物多様性に関する学習会・講演会〕〔省エネルギーに関する学習会・講演会〕〔緑化推進に関する学習会・講演会〕〔食品ロスに関する学習会・講演会〕で3割台となっています。



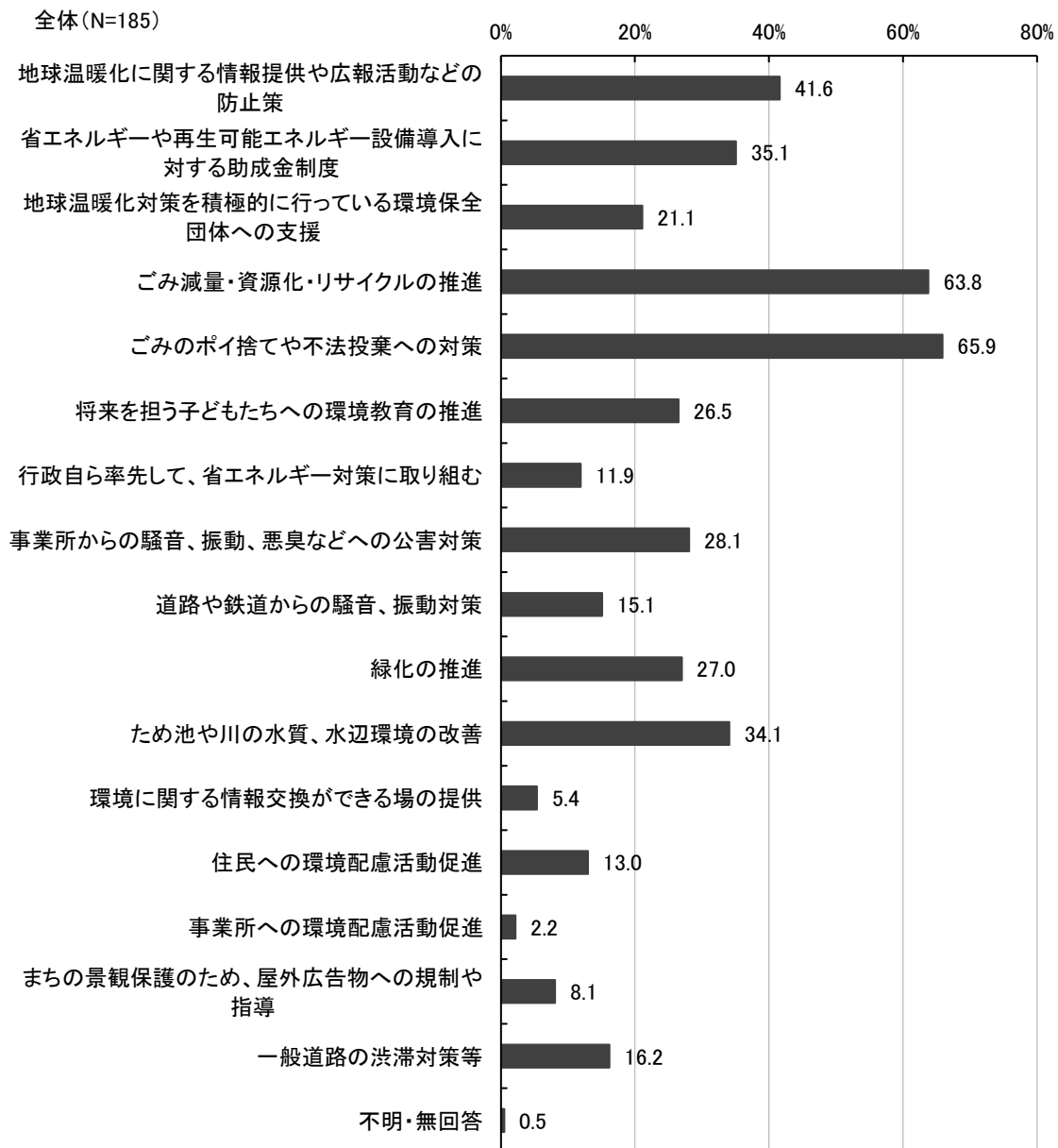
問8 環境問題について、事業者が特に取り組むべきだと思う施策を次の中から選んでください。(3つまで選択可)

環境問題に対して事業者が特に取り組むべき施策についてみると、「ごみ減量・資源化に努める」が83.2%と最も高く、次いで「省エネルギーや再生可能エネルギー設備導入」が57.8%、「環境に配慮した製造方法や原材料への転換」が48.6%となっています。



問9 環境問題について、行政が特に取り組むべきだと思う施策を次の中から選んでください。（5つまで選択可）

環境問題に対して行政が取り組むべき施策についてみると、「ごみのポイ捨てや不法投棄への対策」が65.9%と最も高く、次いで「ごみ減量・資源化・リサイクルの推進」が63.8%、「地球温暖化に関する情報提供や広報活動などの防止策」が41.6%となっています。

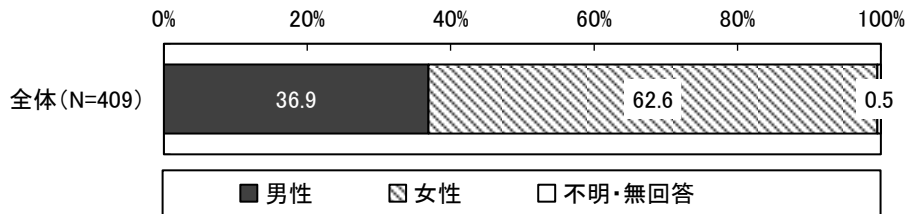


第4章 一般住民アンケート

1. あなた自身について

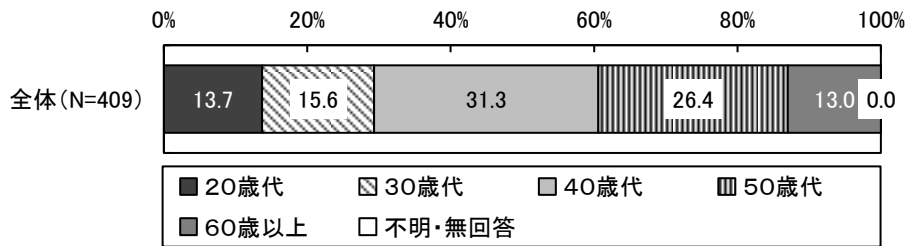
問1 性別（1つに○）

性別についてみると、「男性」が36.9%、「女性」が62.6%となっています。



問2 年齢（1つに○）

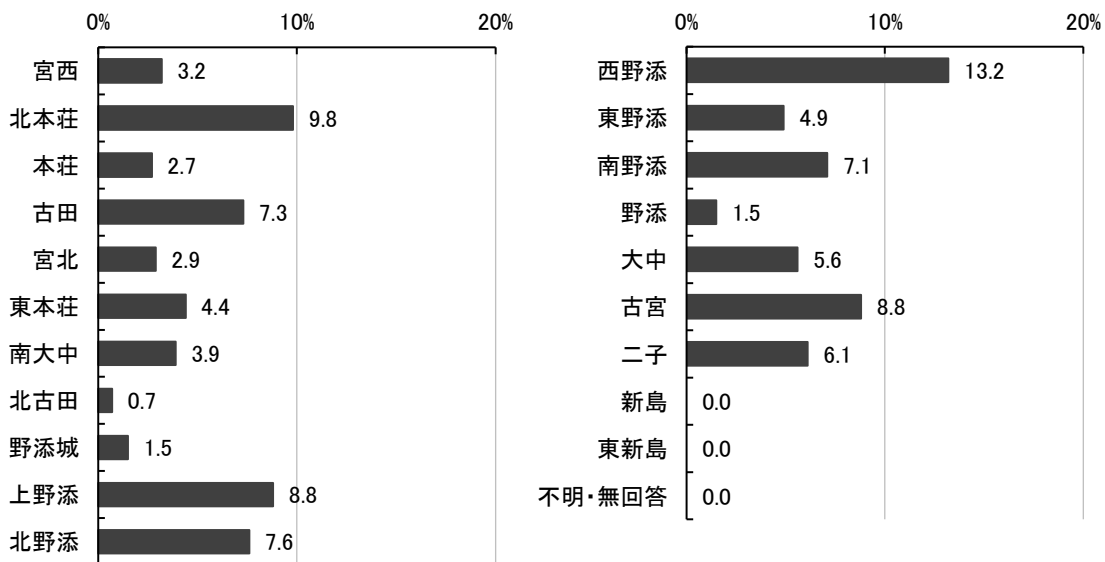
年齢についてみると、「40歳代」が31.3%と最も高く、次いで「50歳代」が26.4%、「30歳代」が15.6%となっています。



問3 お住まいの地区（1つに○）

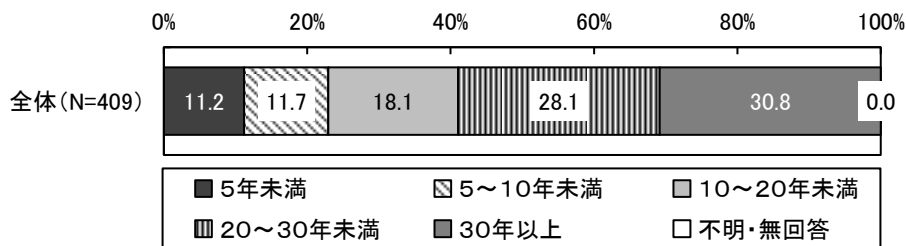
居住地区についてみると、「西野添」が13.2%と最も高く、次いで「北本荘」が9.8%、「上野添」、「古宮」がともに8.8%となっています。

全体(N=409)



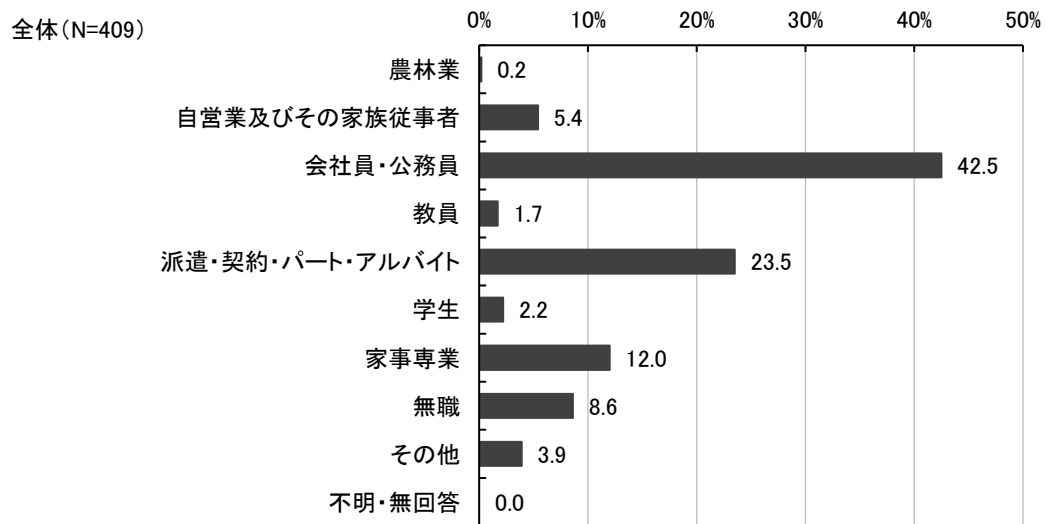
問4 播磨町での居住年数（1つに○）

播磨町での居住年数についてみると、「30年以上」が30.8%と最も高く、次いで「20～30年未満」が28.1%、「10～20年未満」が18.1%となっています。



問5 職業（1つに○）

職業についてみると、「会社員・公務員」が42.5%と最も高く、次いで「派遣・契約・パート・アルバイト」が23.5%、「家事専業」が12.0%となっています。



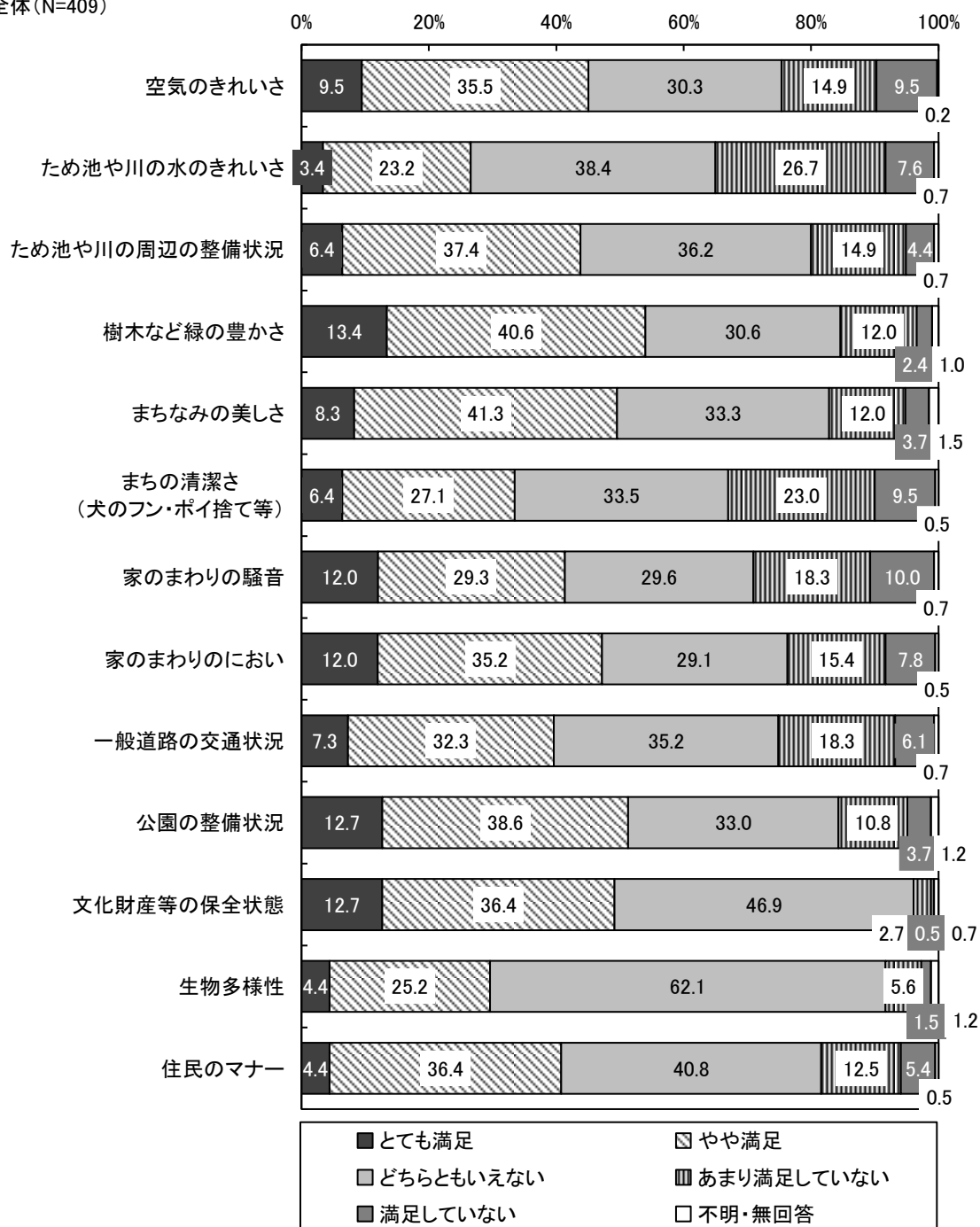
2. 播磨町の環境について

問6 あなたは、お住まいの地域を中心とした環境に関する項目について、どの程度満足されていますか。また、将来の播磨町全体の環境にとって、どの程度関心がありますか。（「満足度」、「関心度」の両方でそれぞれ1つだけに○）

満足度

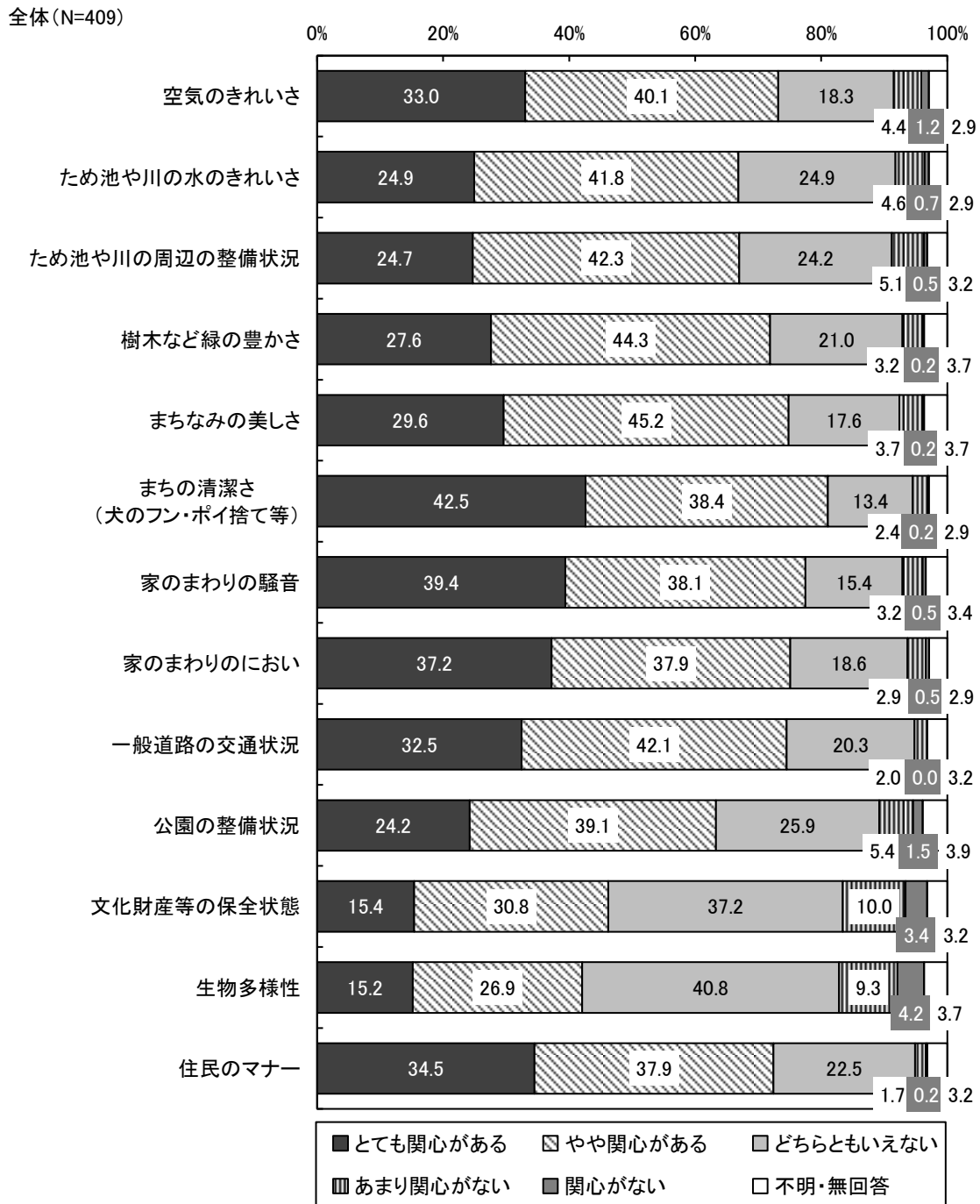
環境に関する満足度についてみると、『満足（「とても満足」と「やや満足」の合計）』では、〔樹木など緑の豊かさ〕〔公園の整備状況〕で5割台となっています。『満足していない（「あまり満足していない」と「満足していない」の合計）』では、〔ため池や川の水のきれいさ〕〔まちの清潔さ（犬のフン・ポイ捨て等）〕で3割台となっています。

全体(N=409)



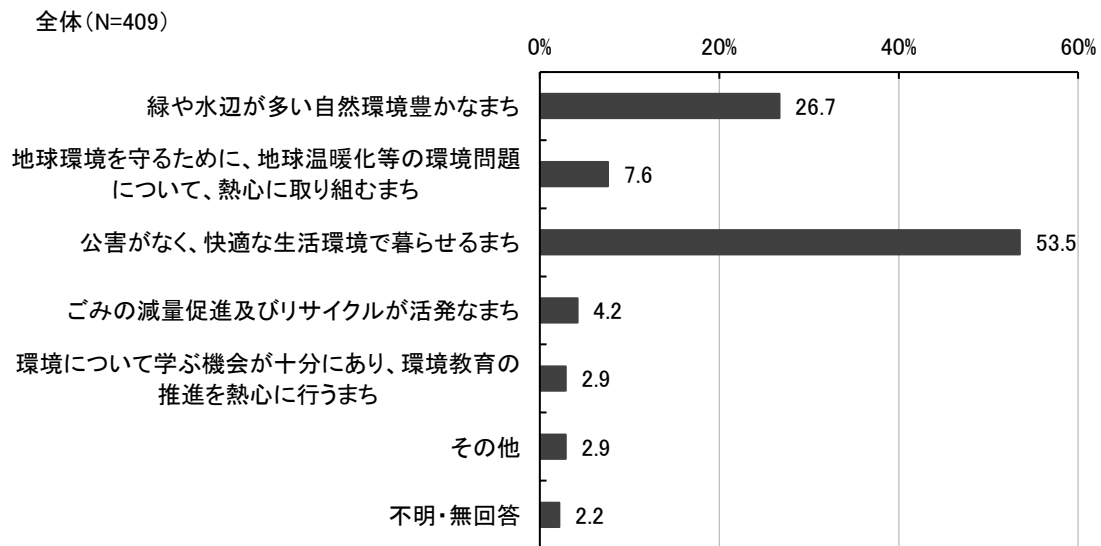
関心度

環境に関する関心度についてみると、『関心がある（「とても関心がある」と「やや関心がある」の合計）』では、〔まちなみの清潔さ（犬のフン・ポイ捨て等）〕で8割台となっています。『関心がない（「あまり関心がない」と「関心がない」の合計）』では、〔文化財産等の保全状態〕〔生物多様性〕で1割台となっています。



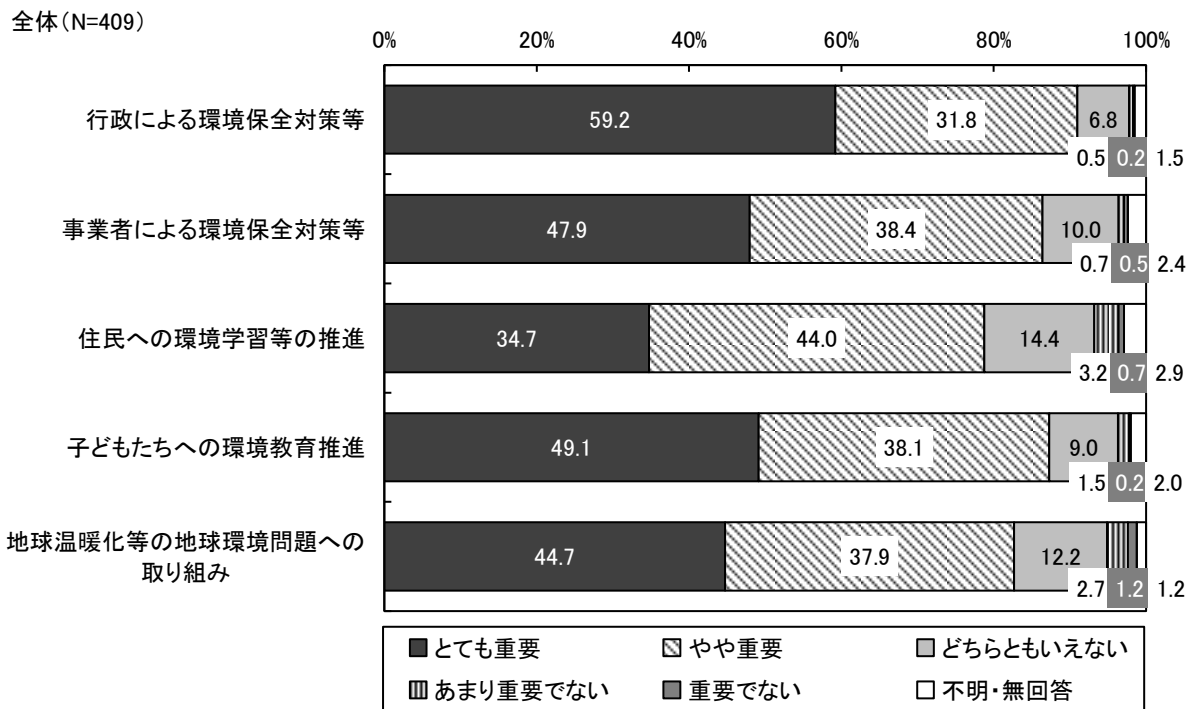
問7 将来、播磨町をどのような環境のまちにしていきたいですか。(1つに〇)

将来、播磨町をどのような環境のまちにしていきたいかについてみると、「公害がなく、快適な生活環境で暮らせるまち」が53.5%と最も高く、次いで「緑や水辺が多い自然環境豊かなまち」が26.7%となっています。



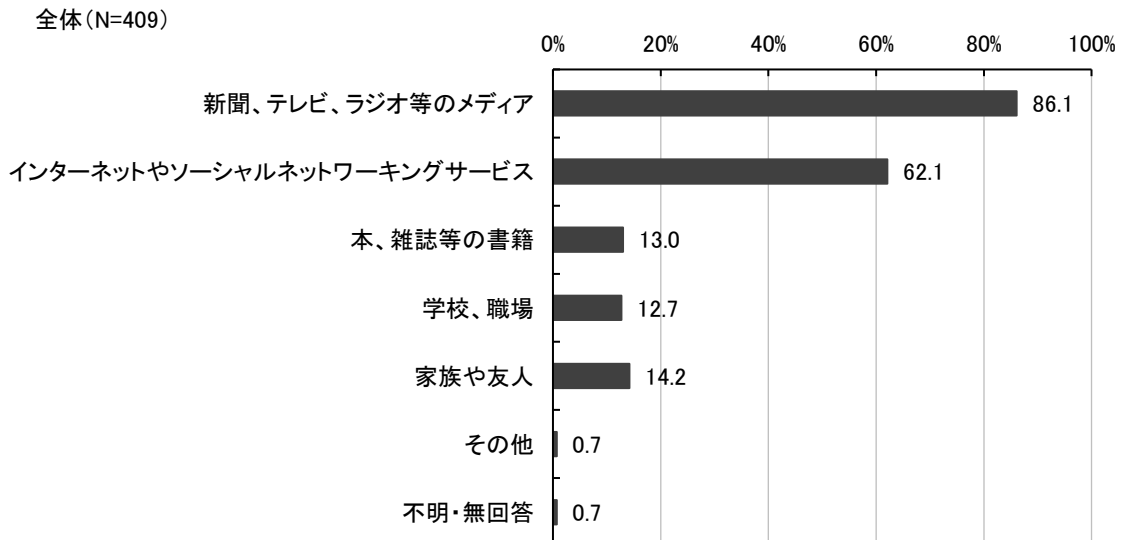
問8 播磨町の環境をより良いものにしていくために、下記の項目はどの程度、重要だと思いますか。(それぞれ1つだけに○)

播磨町の環境をより良いものにするために重要な項目についてみると、『重要（「とても重要」と「やや重要」の合計）』では、〔行政による環境保全対策等〕で9割台、〔事業者による環境保全対策等〕〔子どもたちへの環境教育推進〕〔地球温暖化等の地球環境問題への取り組み〕で8割台となっています。



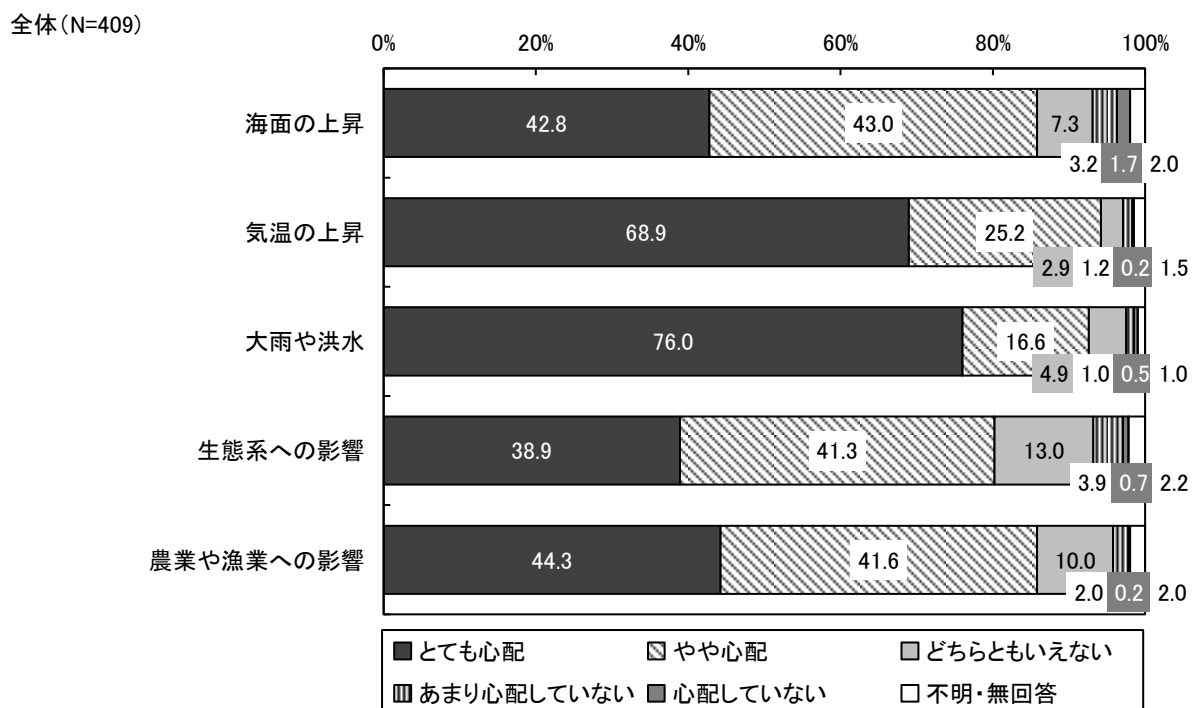
問9 環境問題に関する情報を、あなたはどこから得ていますか。(複数回答可)

環境問題に関する情報源についてみると、「新聞、テレビ、ラジオ等のメディア」が86.1%と最も高く、次いで「インターネットやソーシャルネットワーキングサービス」が62.1%となっています。



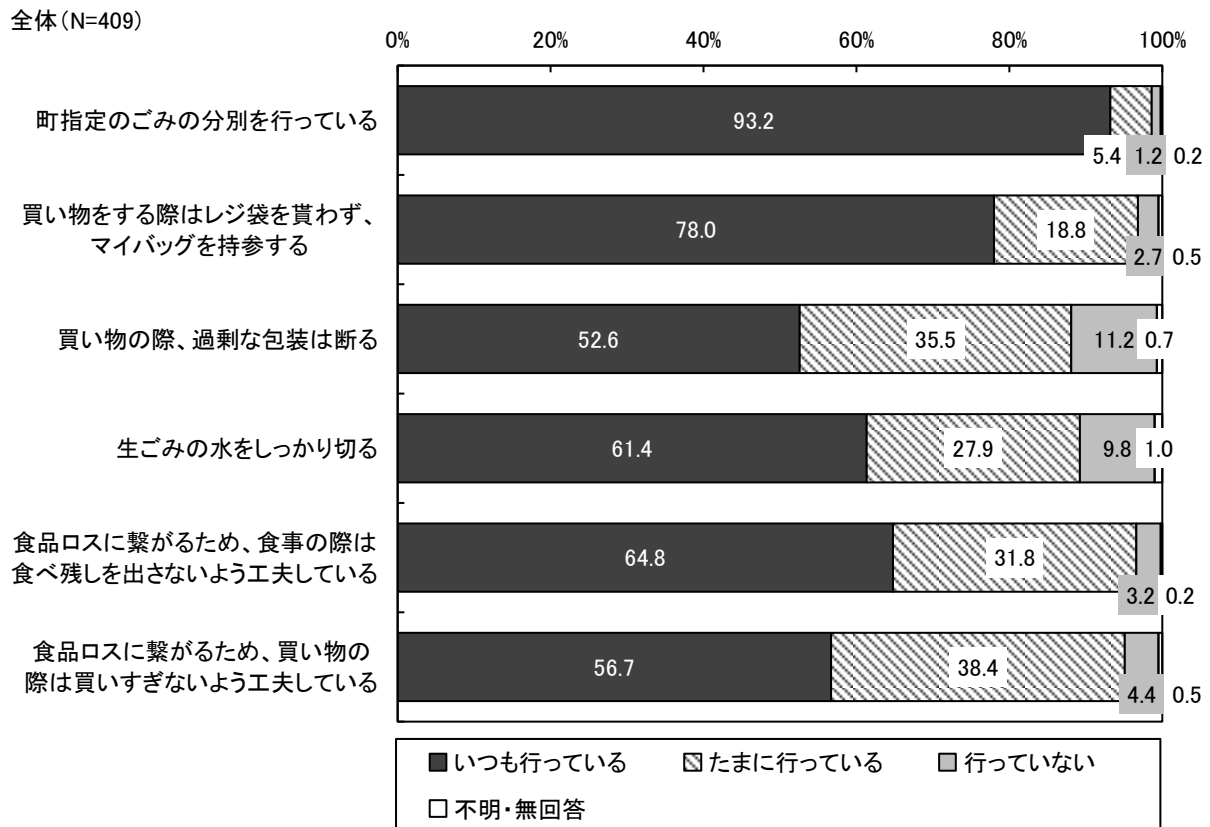
問10 地球温暖化が進むことによって及ぼす影響についてあなたはどの程度、心配していますか。(それぞれ1つだけに○)

地球温暖化が及ぼす影響を、どの程度心配しているかについてみると、『心配(「とても心配」と「やや心配」の合計)』では、[気温の上昇][大雨や洪水]で9割台となっています。



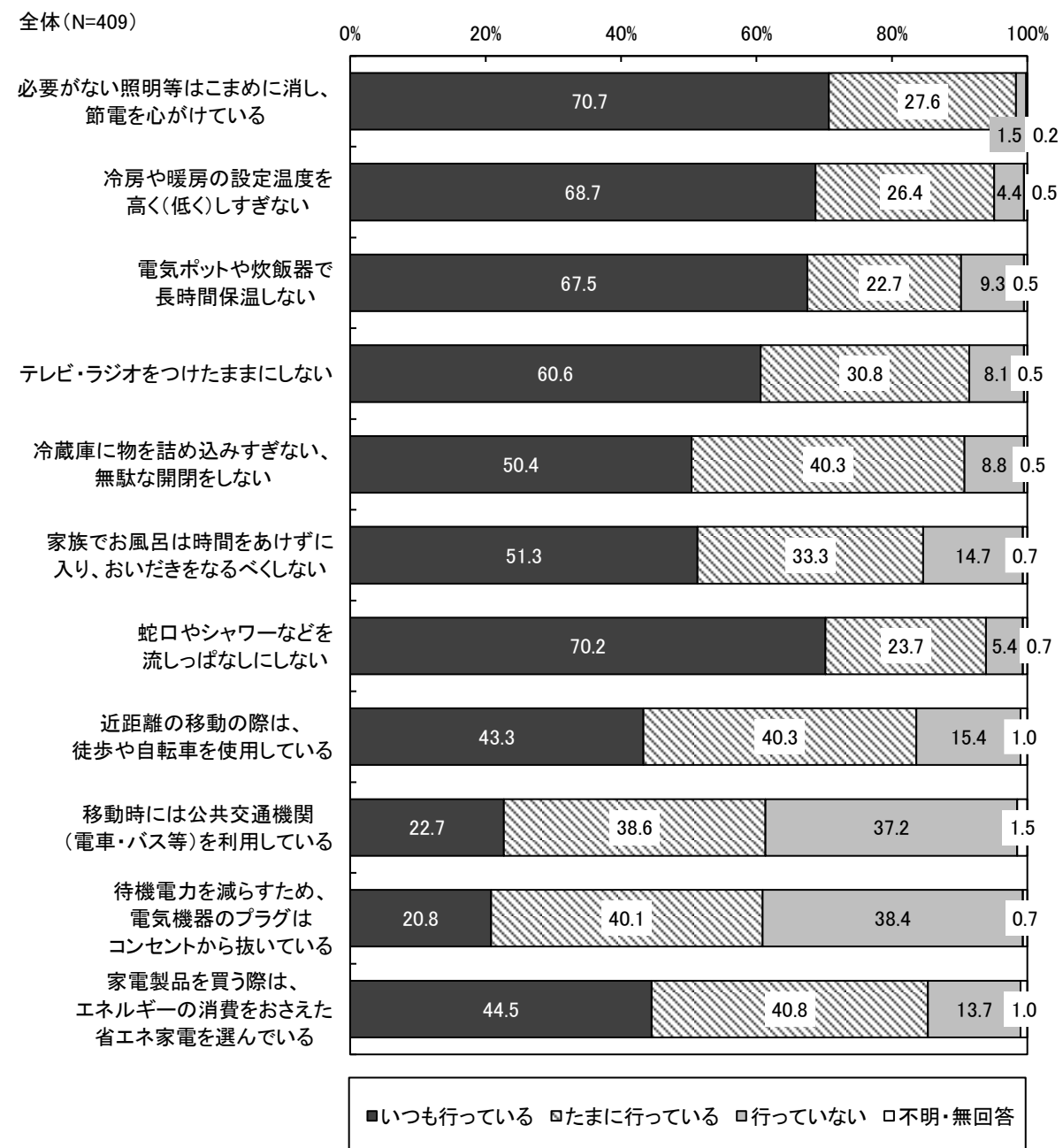
問 11 ごみ減量・資源化は大切な取り組みですが、あなたは日頃、どの程度実施していますか。(それぞれ1つだけに○)

ごみ減量・資源化を日頃どの程度実施しているかについてみると、『行っている（「いつも行っている」と「たまに行っている」の合計）』では、[町指定のごみの分別を行っている] [買い物をする際はレジ袋を貰わず、マイバッグを持参する] [食品ロスに繋がるため、食事の際は食べ残しを出さないよう工夫している] [食品ロスに繋がるため、買い物の際は買いすぎないよう工夫している] で9割台となっています。



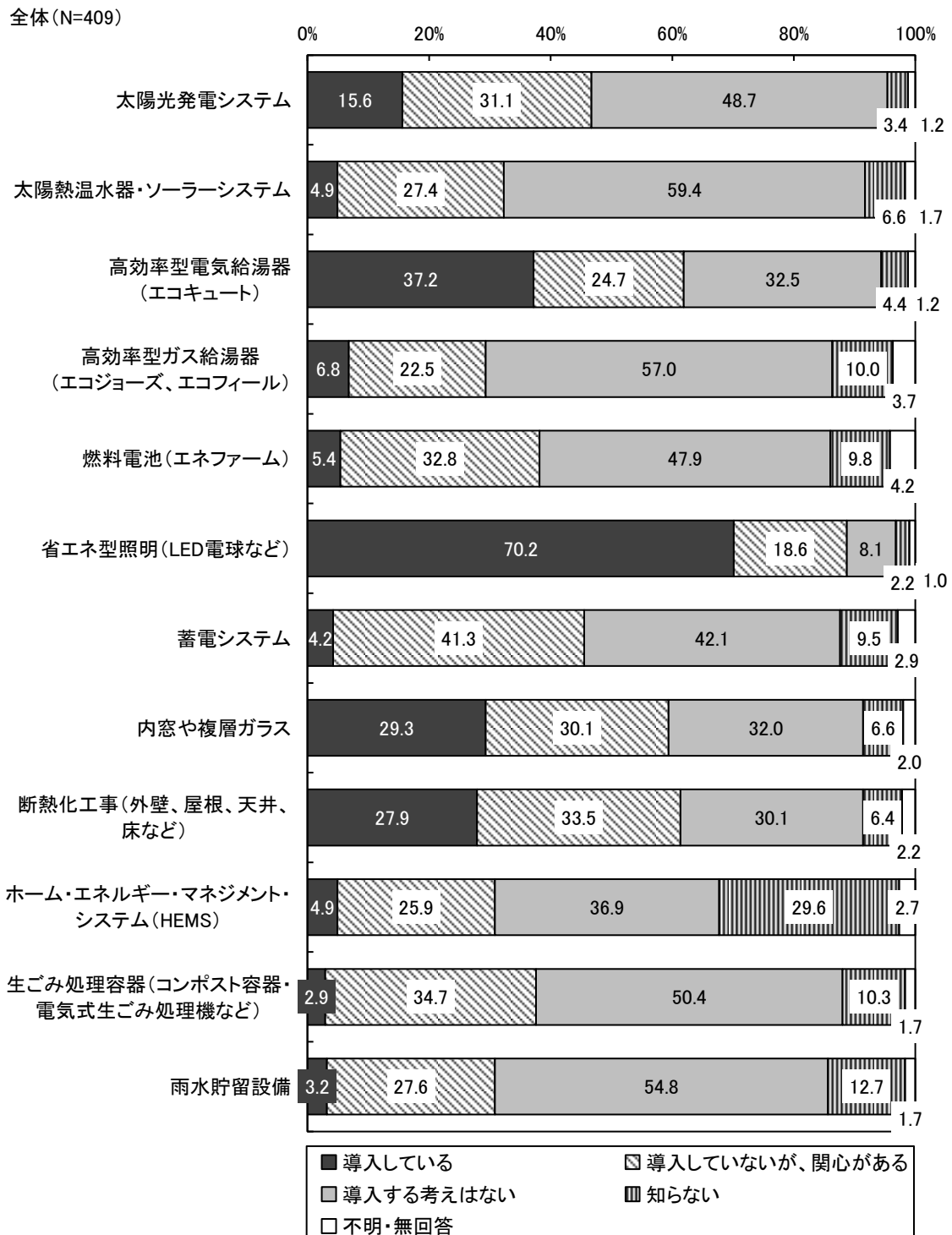
問 12 省エネルギー活動は地球温暖化を防止するうえで大切な取り組みですが、あなたは日頃、どの程度実施していますか。(それぞれ1つだけに○)

省エネルギー活動を日頃どの程度実施しているかについてみると、『行っている（「いつも行っている」と「たまに行っている」の合計）』では、[必要がない照明等はこまめに消し、節電を心がけている] [冷房や暖房の設定温度を高く（低く）しすぎない] [蛇口やシャワーなどを流しっぱなしにしない] [テレビ・ラジオをつけたままにしない] [冷蔵庫に物を詰め込みすぎない、無駄な開閉をしない] [電気ポットや炊飯器で長時間保温しない] で9割台となっています。「行っていない」では、[移動時には公共交通機関（電車・バス等）を利用している] [待機電力を減らすため、電気機器のプラグはコンセントから抜いている] で3割台となっています。



問 13 ご家庭で、再生可能エネルギー設備や省エネルギー機器を利用していますか。または導入することをお考えですか。(それぞれ1つだけに○)

家庭で再生可能エネルギー設備や省エネルギー機器を導入しているかについてみると、『「導入している」と「導入していないが、関心がある」の合計』では、〔省エネ型照明（LED電球など）〕で8割台、〔高効率型電気給湯器（エコキュート）〕〔断熱化工事（外壁、屋根、天井、床など）〕で6割台となっています。「知らない」では、〔ホーム・エネルギー・マネジメント・システム（HEMS）〕で2割台となっています。

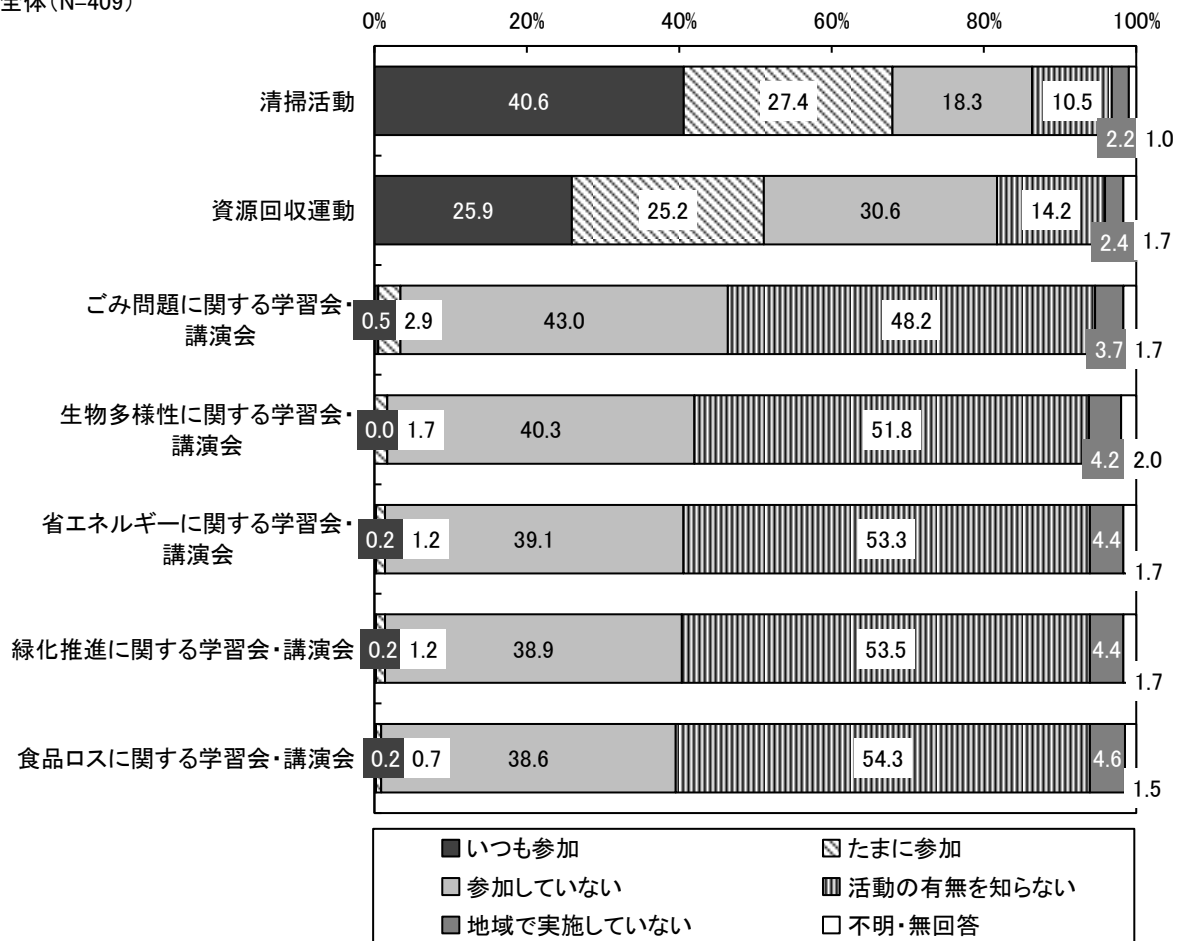


問 14 地域での環境活動について、どの程度参加されていますか。また、どの程度関心がありますか。（「参加度」、「関心度」の両方でそれぞれ1つだけに○）

参加度

地域での環境活動への参加度についてみると、『参加（「いつも参加」と「たまに参加」の合計）』では、〔清掃活動〕で6割台、〔資源回収運動〕で5割台となっています。「参加していない」では、〔ごみ問題に関する学習会・講演会〕〔生物多様性に関する学習会・講演会〕で4割台となっています。

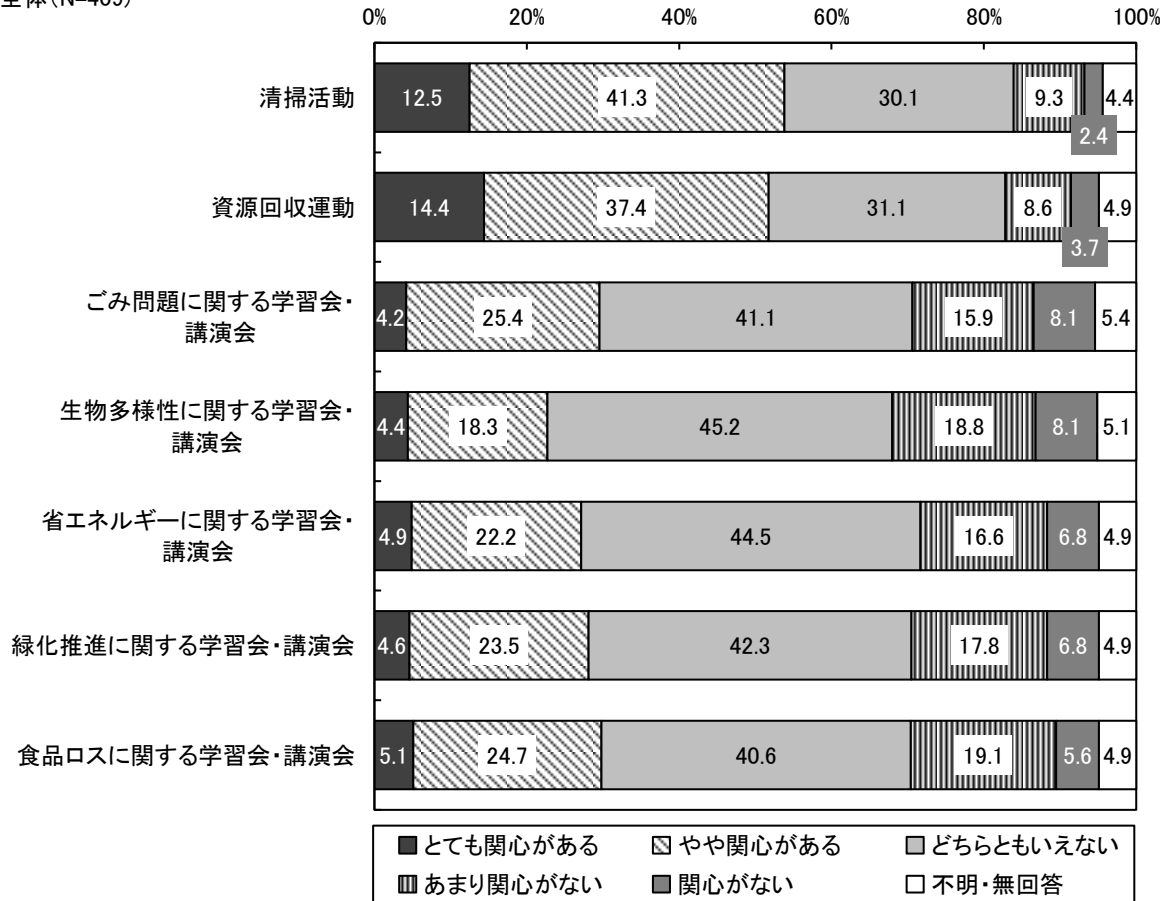
全体(N=409)



関心度

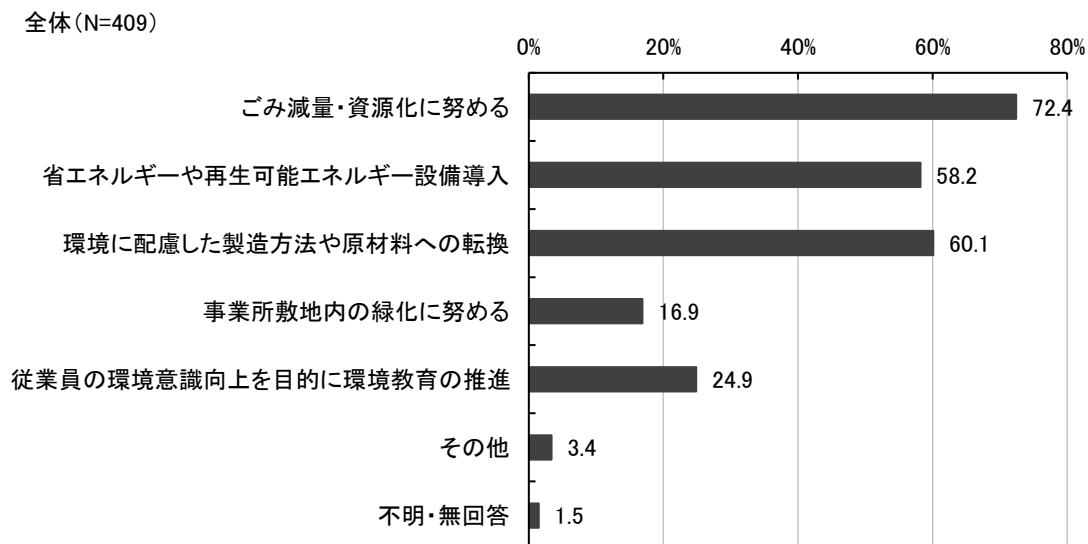
地域での環境活動への関心度についてみると、『関心がある（「とても関心がある」と「やや関心がある」の合計）』では、〔清掃活動〕〔資源回収運動〕で5割台となっています。『関心がない（「あまり関心がない」と「関心がない」の合計）』では、〔ごみ問題に関する学習会・講演会〕〔生物多様性に関する学習会・講演会〕〔省エネルギーに関する学習会・講演会〕〔緑化推進に関する学習会・講演会〕〔食品ロスに関する学習会・講演会〕で2割台となっています。

全体(N=409)



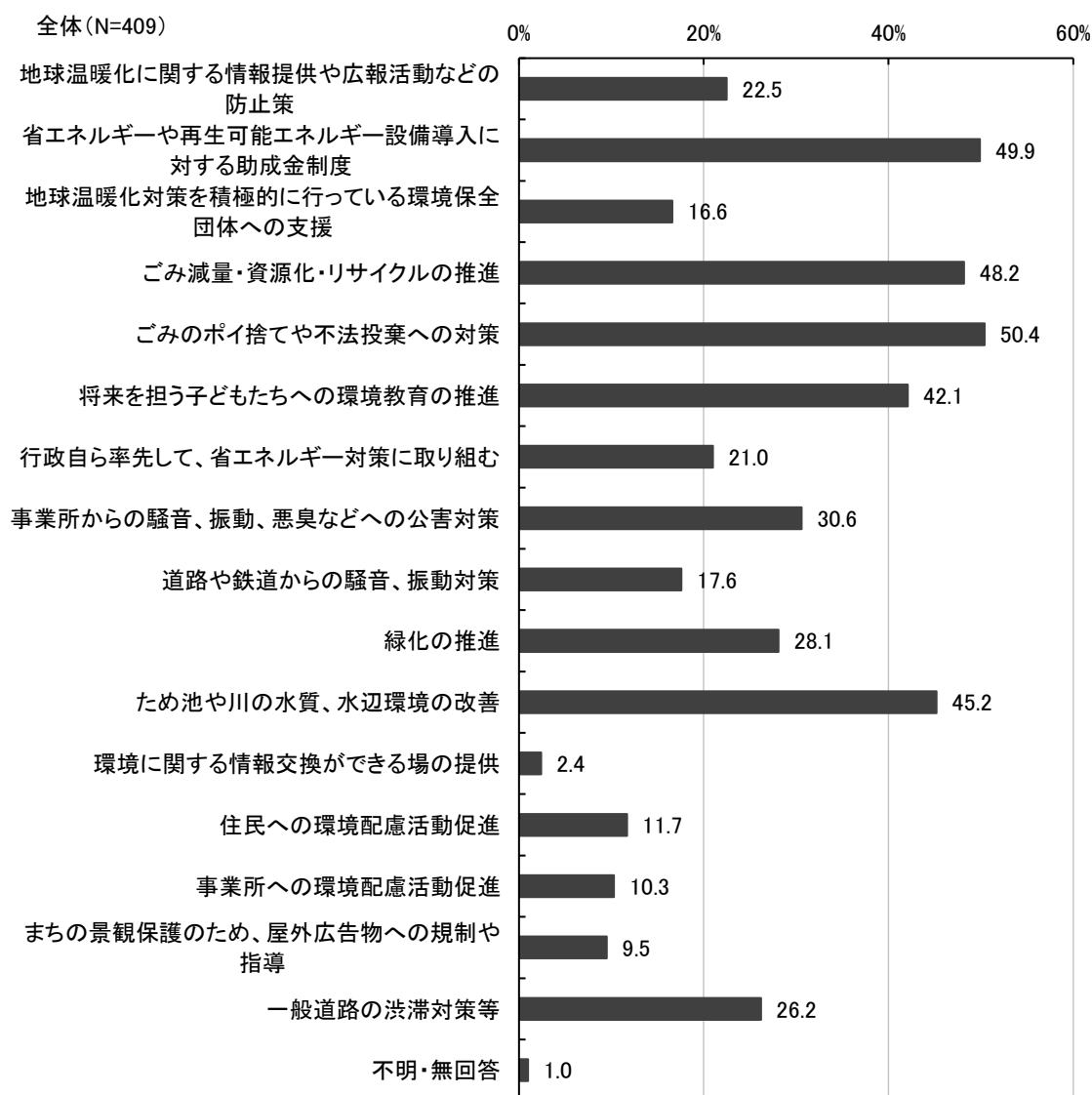
問 15 環境問題について、事業者が特に取り組むべきだと思う施策を次の中から選んでください。(3つまで選択可)

環境問題に対して事業者が特に取り組むべき施策についてみると、「ごみ減量・資源化に努める」が72.4%と最も高く、次いで「環境に配慮した製造方法や原材料への転換」が60.1%、「省エネルギーや再生可能エネルギー設備導入」が58.2%となっています。



問 16 環境問題について、行政が特に取り組むべきだと思う施策を次の中から選んでください。(5つまで選択可)

環境問題に対して行政が取り組むべき施策についてみると、「ごみのポイ捨てや不法投棄への対策」が50.4%と最も高く、次いで「省エネルギーや再生可能エネルギー設備導入に対する助成金制度」が49.9%、「ごみ減量・資源化・リサイクルの推進」が48.2%となっています。

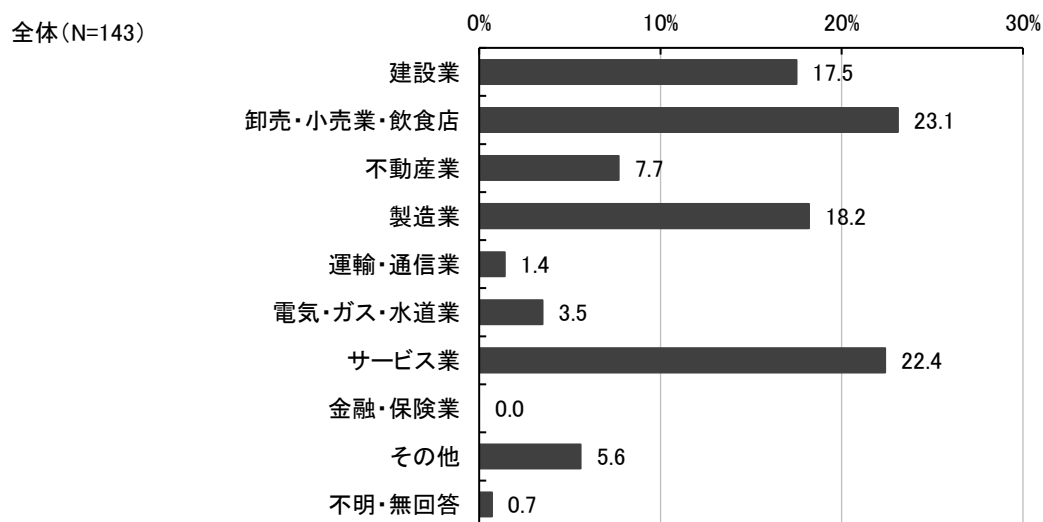


第5章 事業所アンケート

1. 事業所について

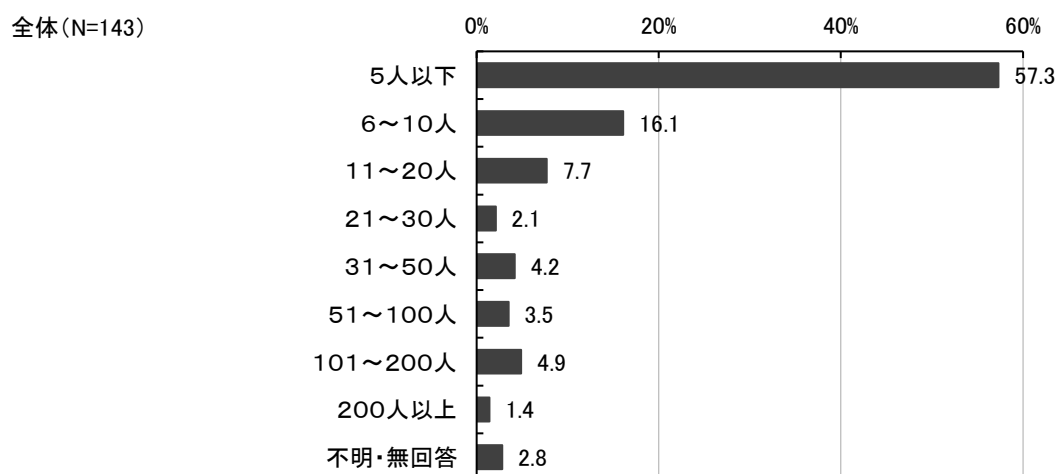
問1 事業所の業種（複合している場合は主たるもの）（1つに○）

事業所の業種についてみると、「卸売・小売業・飲食店」が23.1%と最も高く、次いで「サービス業」が22.4%、「製造業」が18.2%となっています。



問2 事業所内(町内)における従業員数（パートやアルバイト等を含む）（1つに○）

従業員数についてみると、「5人以下」が57.3%と最も高く、次いで「6～10人」が16.1%、「11～20人」が7.7%となっています。

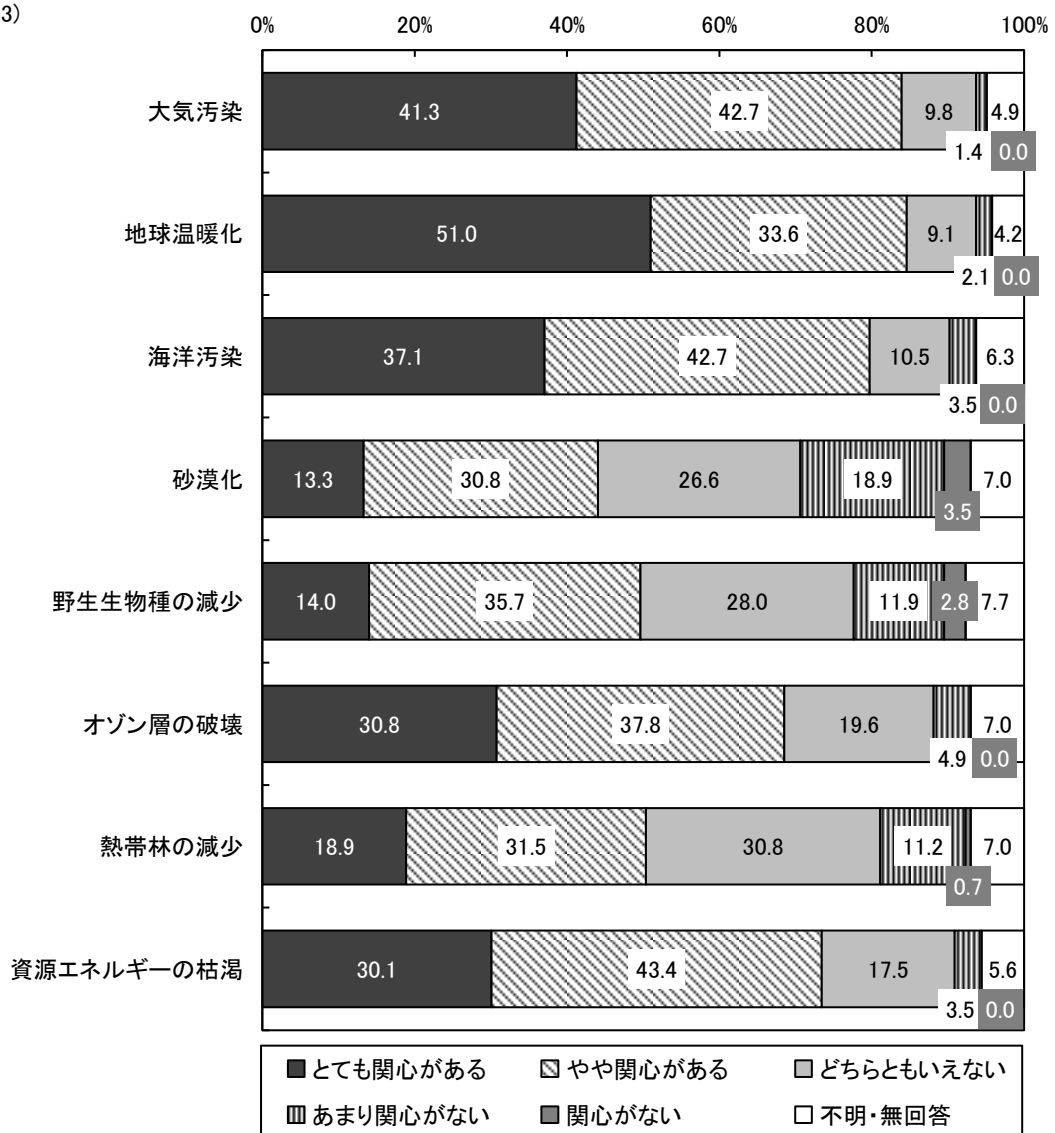


問3 貴事業所は環境に関する項目について、どの程度関心がありますか。

(それぞれ1つだけに○)

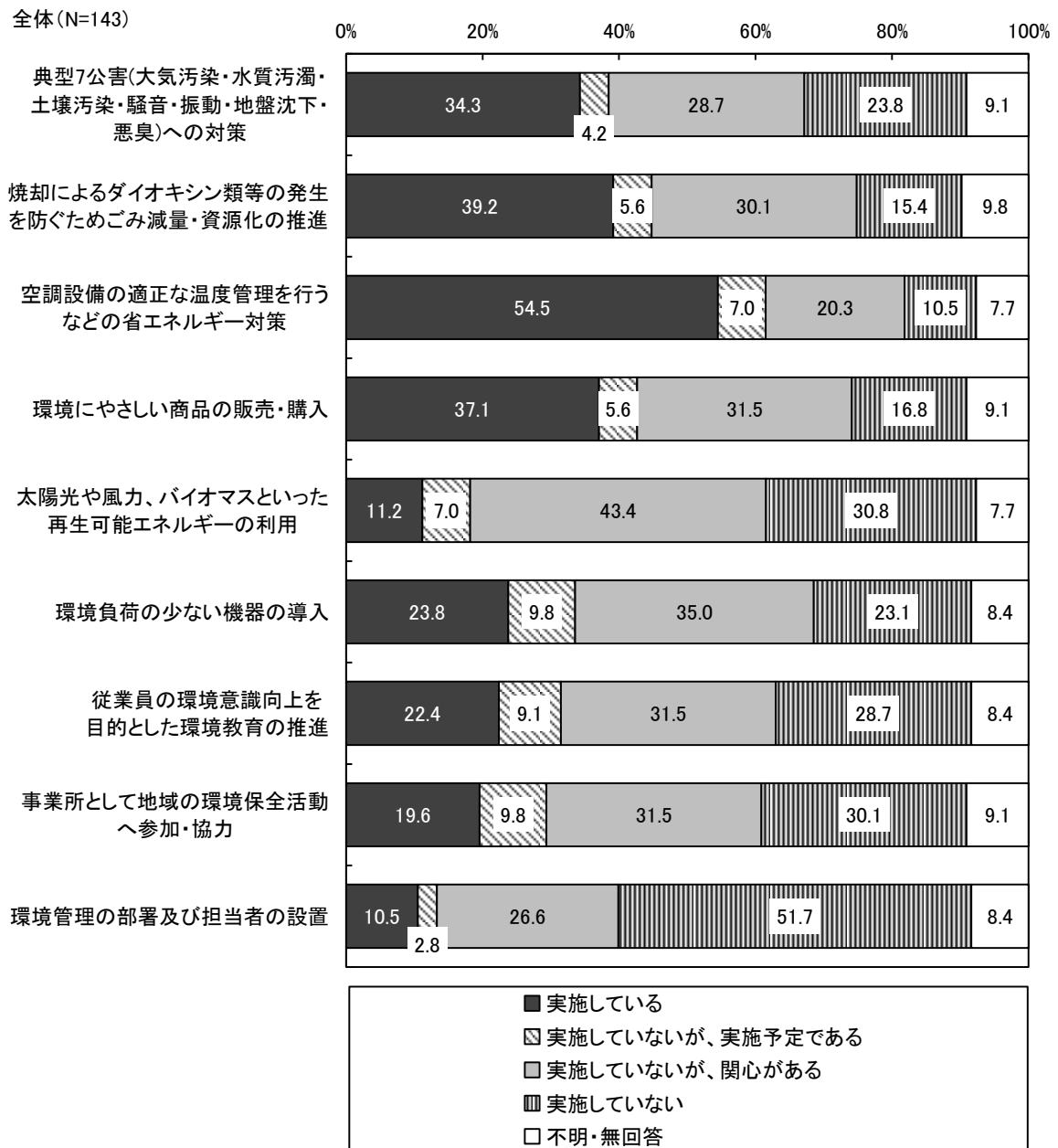
環境に関する関心度についてみると、『関心がある（「とても関心がある」と「やや関心がある」の合計）』では、[大気汚染][地球温暖化]で8割台となっています。『関心がない（「あまり関心がない」と「関心がない」の合計）』では、[砂漠化]で2割台、[野生生物種の減少][熱帯林の減少]で1割台となっています。

全体(N=143)



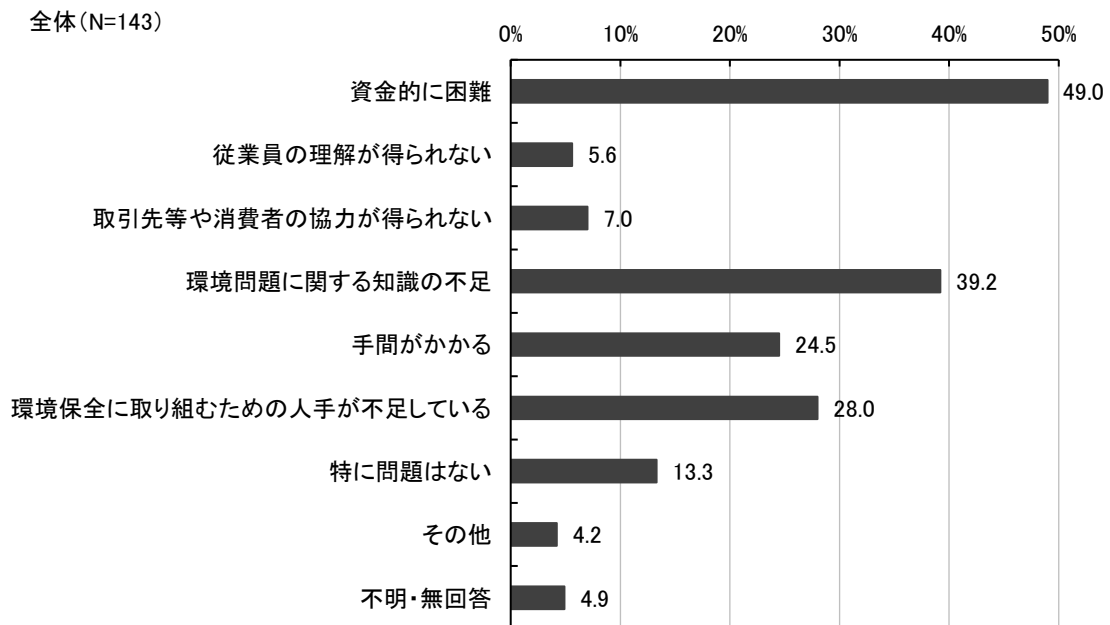
問4 貴事業所は、環境保全への取り組みを実施していますか。(それぞれ1つだけに○)

環境保全への取組を実施しているかについてみると、「実施している」では、〔空調設備の適正な温度管理を行うなどの省エネルギー対策〕で5割台、〔典型7公害（大気汚染・水質汚濁・土壌汚染・騒音・振動・地盤沈下・悪臭）への対策〕〔焼却によるダイオキシン類等の発生を防ぐためごみ減量・資源化の推進〕〔環境にやさしい商品の販売・購入〕で3割台となっています。「実施していない」では、〔環境管理の部署及び担当者の設置〕で5割台、〔太陽光や風力、バイオマスといった再生可能エネルギーの利用〕〔事業所として地域の環境保全活動へ参加・協力〕で3割台となっています。



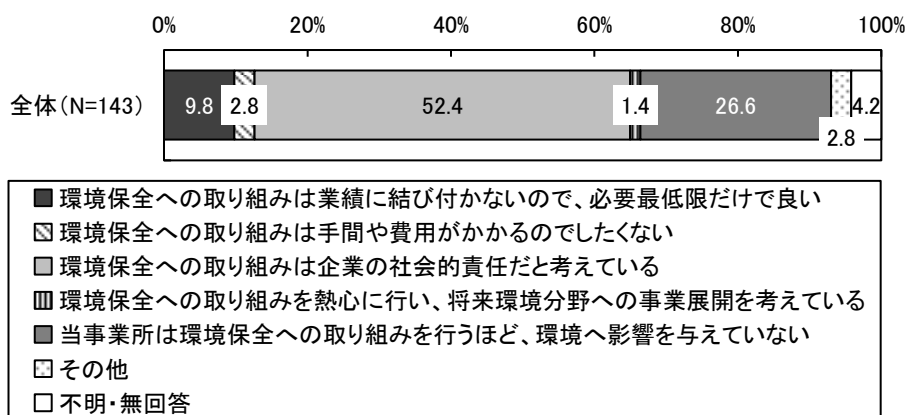
問5 貴事業所が環境保全への取り組みを進めていくうえで、生じる問題について、次の中から選んでください。(3つまで選択可)

環境保全への取り組みを進めていくうえで、生じる問題についてみると、「資金的に困難」が49.0%と最も高く、次いで「環境問題に関する知識の不足」が39.2%、「環境保全に取り組むための人手が不足している」が28.0%となっています。



問6 事業活動における環境保全への取り組みについて、どのようにお考えですか。(1つに〇)

事業活動における環境保全への取り組みに対する考えについてみると、「環境保全への取り組みは企業の社会的責任だと考えている」が52.4%と最も高く、次いで「当事業所は環境保全への取り組みを行うほど、環境へ影響を与えていない」が26.6%、「環境保全への取り組みは業績に結び付かないので、必要最低限だけで良い」が9.8%となっています。

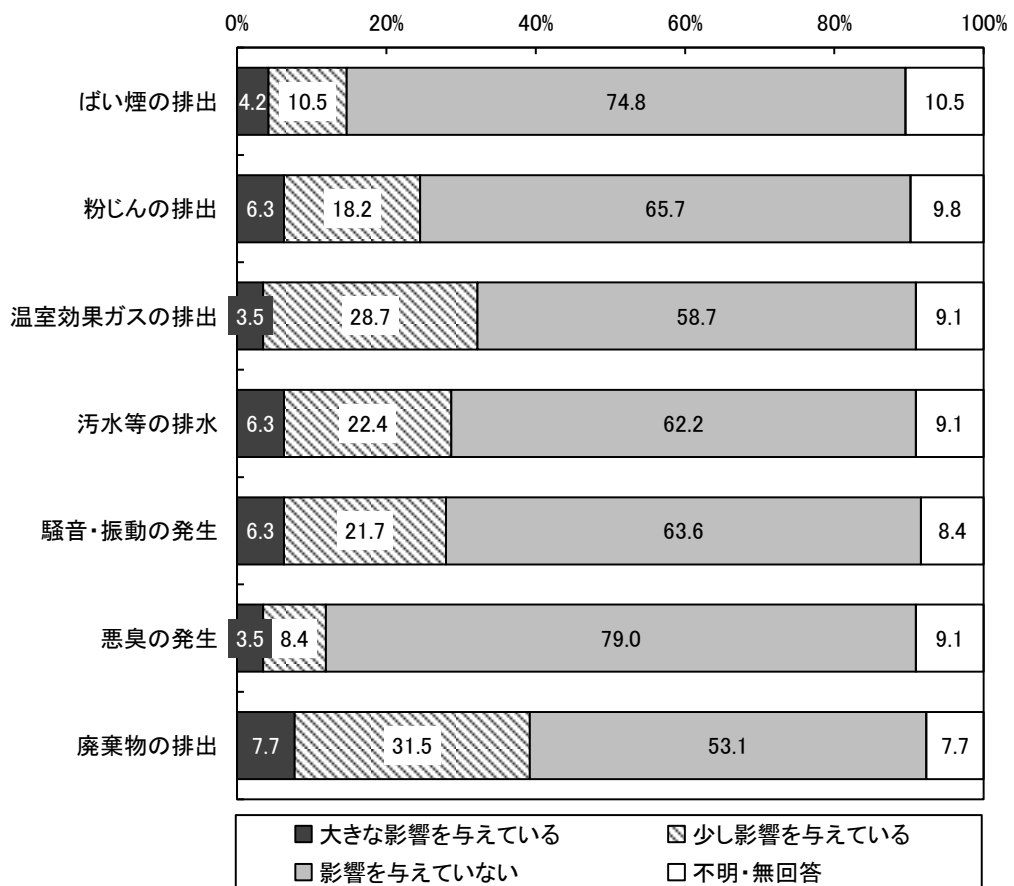


問7 貴事業所の事業活動により、影響を与えていると思うものはありますか。

(それぞれ1つだけに○)

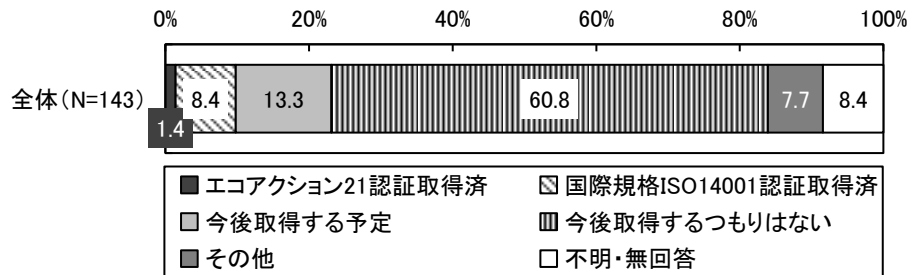
事業活動により、影響を与えていると思うものについてみると、『影響を与えている（「大きな影響を与えている」と「少し影響を与えている」の合計）』では、〔温室効果ガスの排出〕〔廃棄物の排出〕で3割台となっています。「影響を与えていない」では、〔ばい煙の排出〕〔悪臭の発生〕で7割台となっています。

全体(N=143)



問8 貴事業所は、環境マネジメントシステム等環境に関する方針や目標を構築及び設定していますか。(1つに○)

環境マネジメントシステム等環境に関する方針や目標を構築及び設定しているかについてみると、「今後取得するつもりはない」が60.8%と最も高く、次いで「今後取得する予定」が13.3%、「国際規格ISO14001 認証取得済」が8.4%となっています。



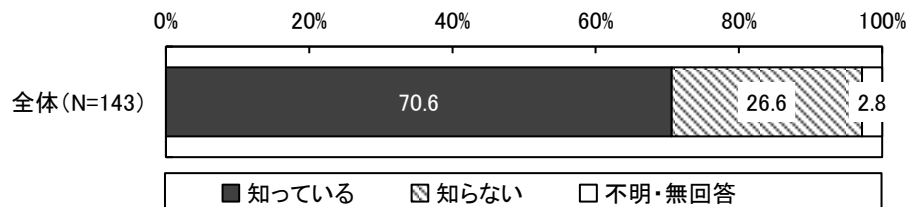
問8で「今後取得するつもりはない」と答えた方

問9 その理由についてお答えください。

内容	件数
小規模・個人事業だから	14
人材・費用が足りないから	10
環境に影響を与えていないから	7
必要ないから	7
将来的に事業を継続しないため	4
環境対策を出来る範囲で実施しているから	4
限界があるから (企業活動において)	1
よく内容を理解してから考える	1
取り組みについての費用対効果を考えると現実的ではない	1
トラック協会Gマーク取得で対応	1
時間がない	1
よく知らないから	1
仕事上取得してもメリットなし	1
考えていないから	1
売り上げ (営業活動) に影響なし	1
取得方法がわからない (プロセス、費用、効果)	1

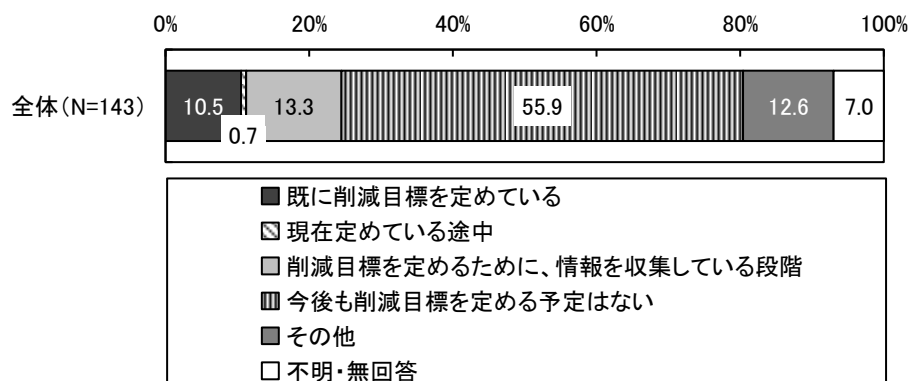
問 10 2020 年以降の気候変動問題に関する国際定期的な枠組みである「パリ協定」で、日本は中期目標を「2030 年までに温室効果ガスを 26%削減（2013 年比）」としています。が、知っていますか。（1つに○）

日本の中期目標が「2030 年までに温室効果ガスを 26%削減（2013 年比）」であることへの認知度についてみると、「知っている」が 70.6%、「知らない」が 26.6%となっています。



問 11 貴事業所では温室効果ガス排出量の削減に向けて、排出量の削減目標を定めていますか。（1つに○）

温室効果ガス排出量の削減目標を定めているかについてみると、「今後も削減目標を定める予定はない」が 55.9%と最も高く、次いで「削減目標を定めるために、情報を収集している段階」が 13.3%、「既に削減目標を定めている」が 10.5%となっています。

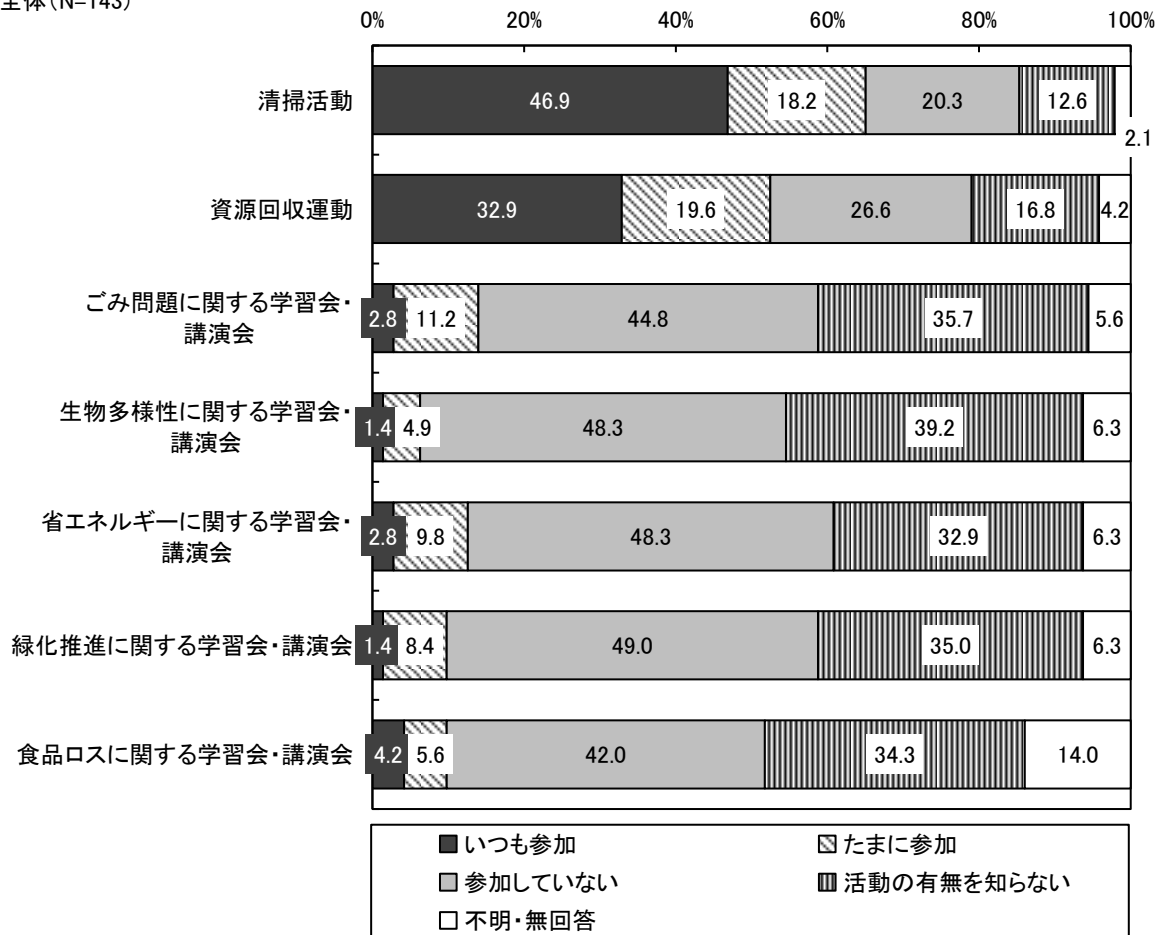


問 12 貴事業所では地域における環境活動について、どの程度参加されていますか。また、どの程度関心がありますか。（「参加度」、「関心度」の両方でそれぞれ1つだけに○）

参加度

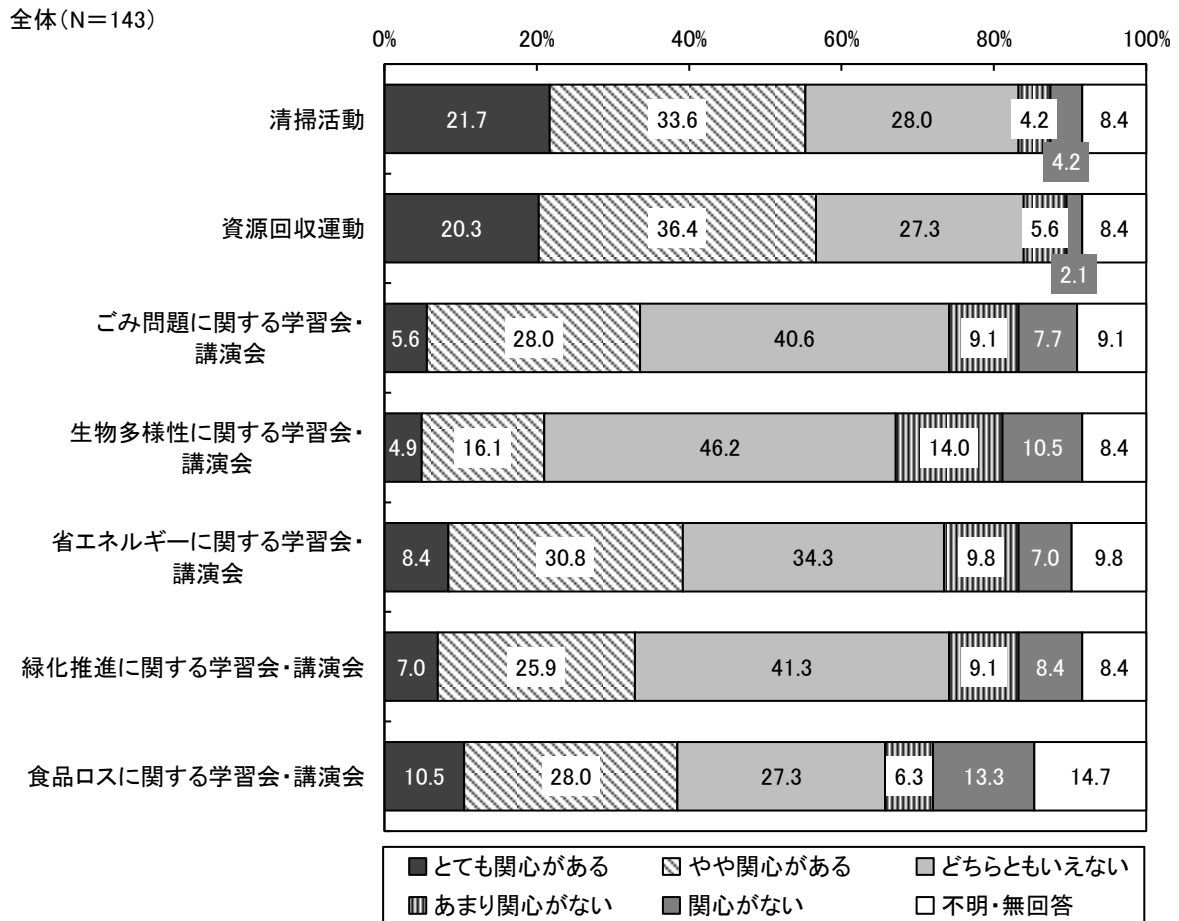
地域における環境活動への参加度についてみると、『参加（「いつも参加」と「たまに参加」の合計）』では、〔清掃活動〕で6割台、〔資源回収運動〕で5割台となっています。

全体(N=143)



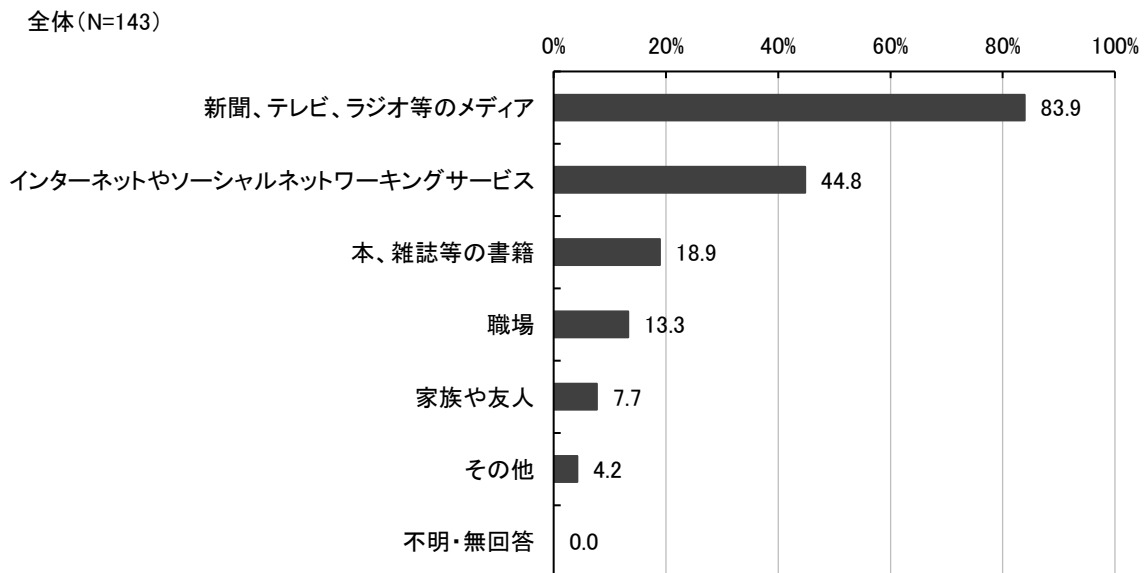
関心度

地域における環境活動への関心度についてみると、『関心がある（「とても関心がある」と「やや関心がある」の合計）』では、〔清掃活動〕〔資源回収運動〕で5割台となっています。『関心がない（「あまり関心がない」と「関心がない」の合計）』では、〔生物多様性に関する学習会・講演会〕で2割台となっています。



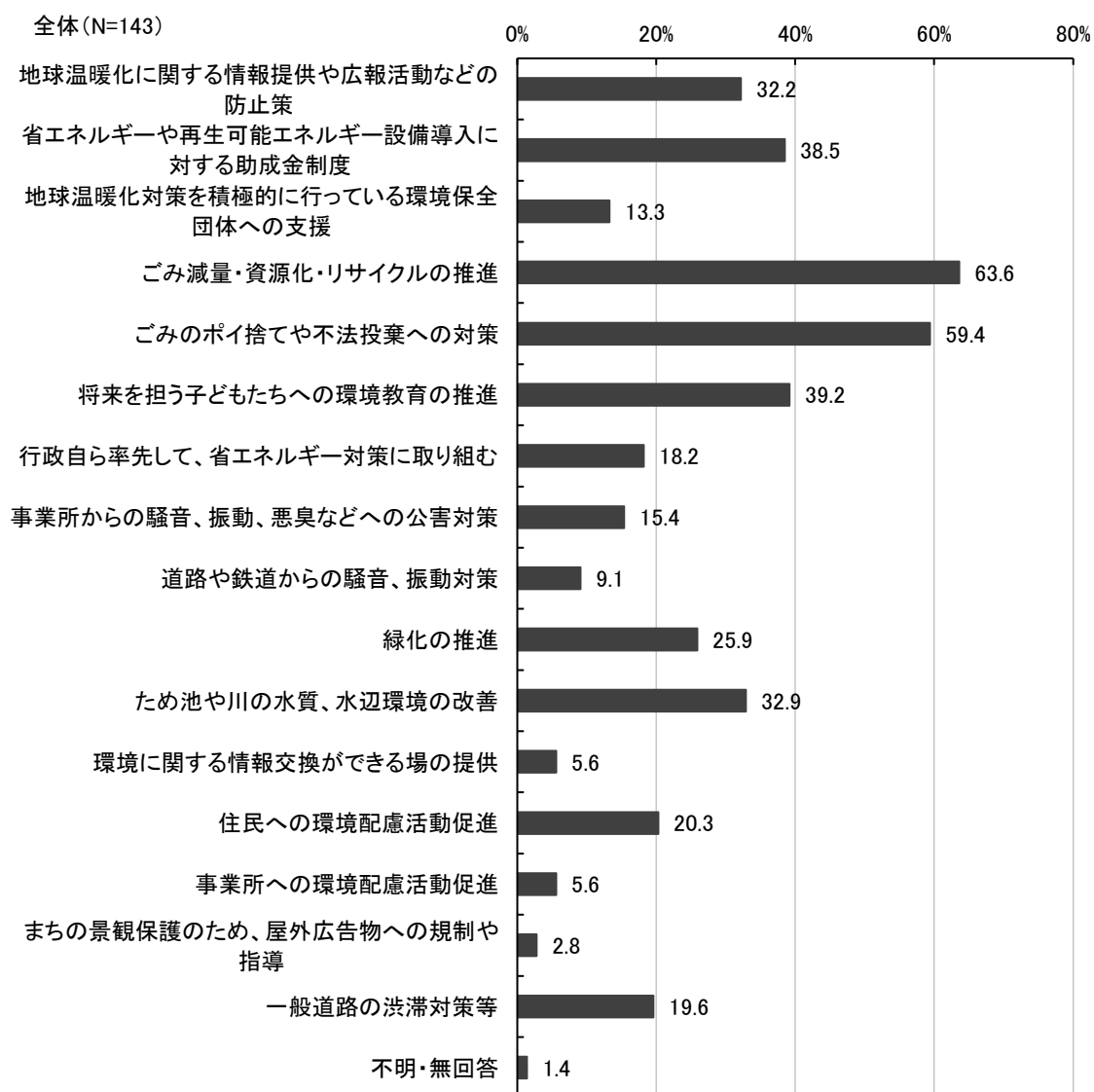
問 13 環境問題に関する情報を、貴事業所はどこから得ていますか。(複数回答可)

環境問題に関する情報源についてみると、「新聞、テレビ、ラジオ等のメディア」が83.9%と最も高く、次いで「インターネットやソーシャルネットワーキングサービス」が44.8%、「本、雑誌等の書籍」が18.9%となっています。



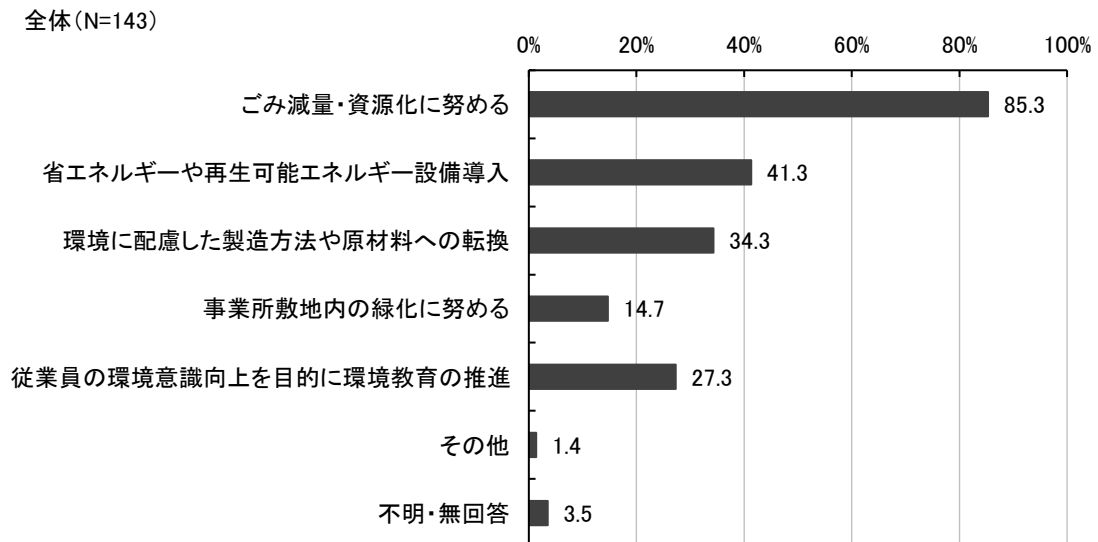
問 14 環境問題について、行政が特に取り組むべきだと思う施策を次の中から選んでください。(5つまで選択可)

環境問題に対して行政が取り組むべき施策についてみると、「ごみ減量・資源化・リサイクルの推進」が63.6%と最も高く、次いで「ごみのポイ捨てや不法投棄への対策」が59.4%、「将来を担う子どもたちへの環境教育の推進」が39.2%となっています。



問 15 環境問題について、事業者が特に取り組むべきだと思う施策を次の中から選んでください。(3つまで選択可)

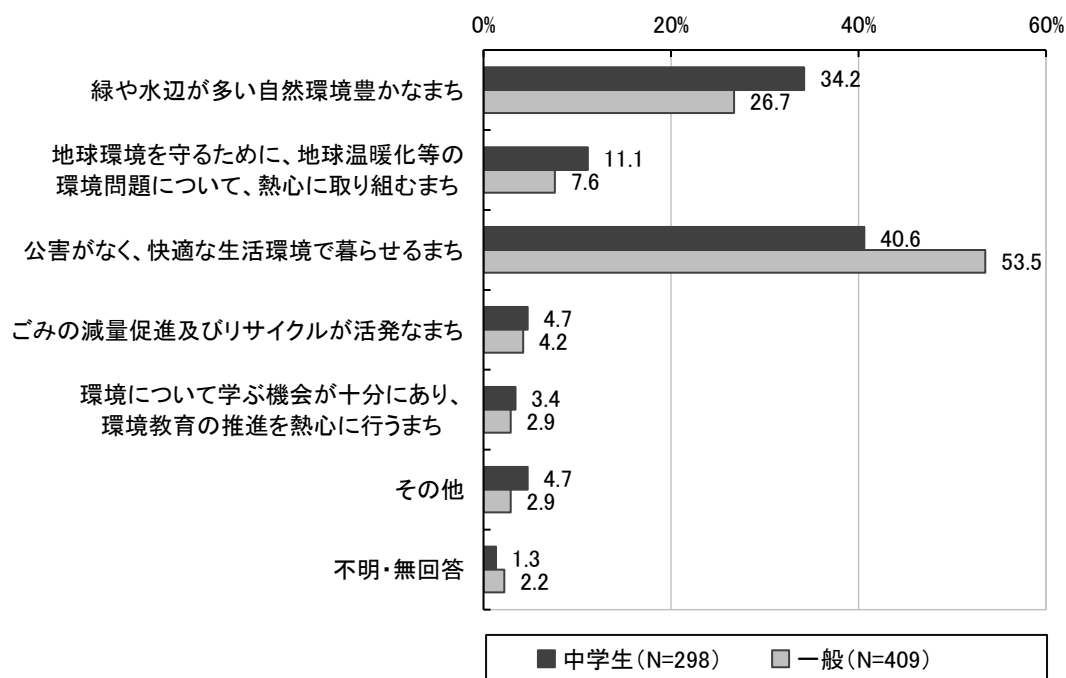
環境問題に対して事業者が特に取り組むべき施策についてみると、「ごみ減量・資源化に努める」が85.3%と最も高く、次いで「省エネルギーや再生可能エネルギー設備導入」が41.3%、「環境に配慮した製造方法や原材料への転換」が34.3%となっています。



第6章 各調査間の比較

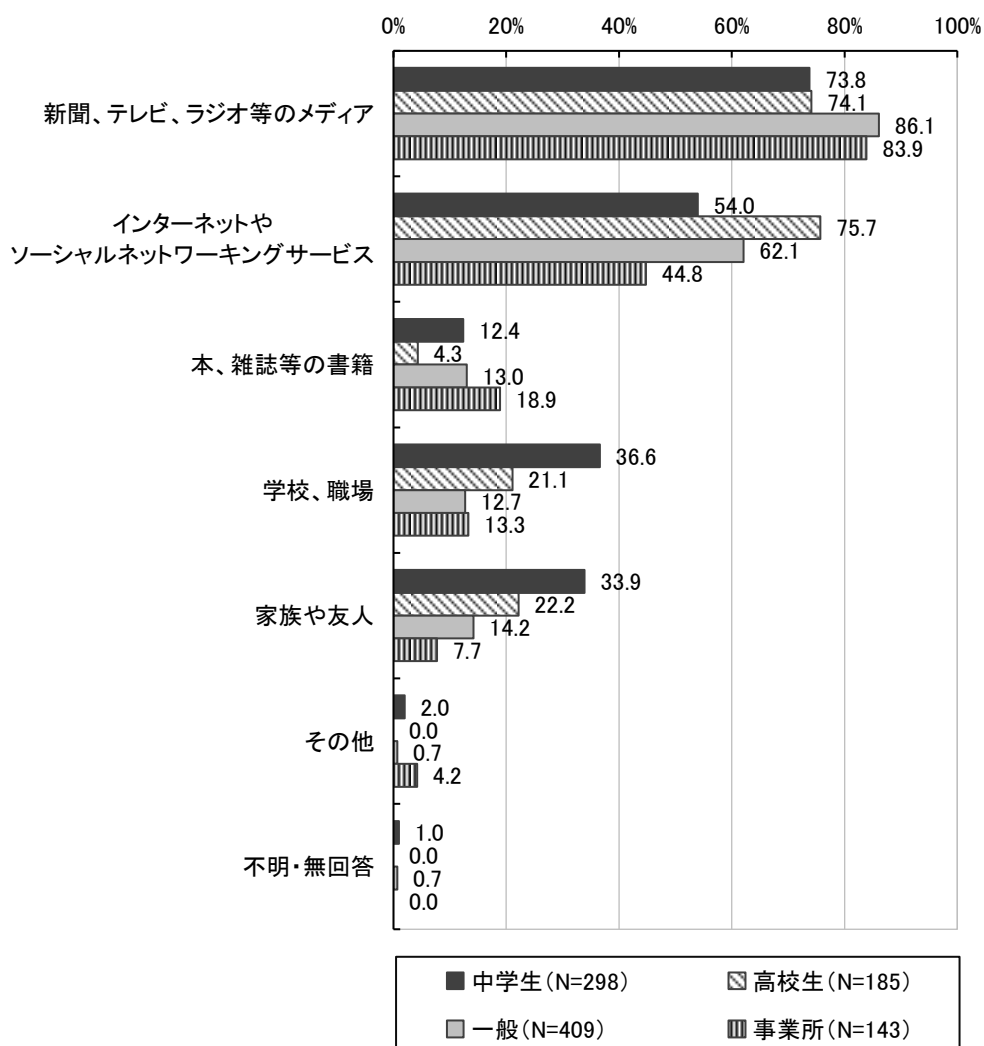
1 将来、播磨町をどのような環境のまちにしていきたいですか。(1つに〇)

将来、播磨町をどのような環境のまちにしていきたいかについてみると、[中学生][一般]ともに「公害がなく、快適な生活環境で暮らせるまち」が最も高く、次いで「緑や水辺が多い自然環境豊かなまち」となっています。



2 環境問題に関する情報を、あなたはどこから得ていますか。(複数回答可)

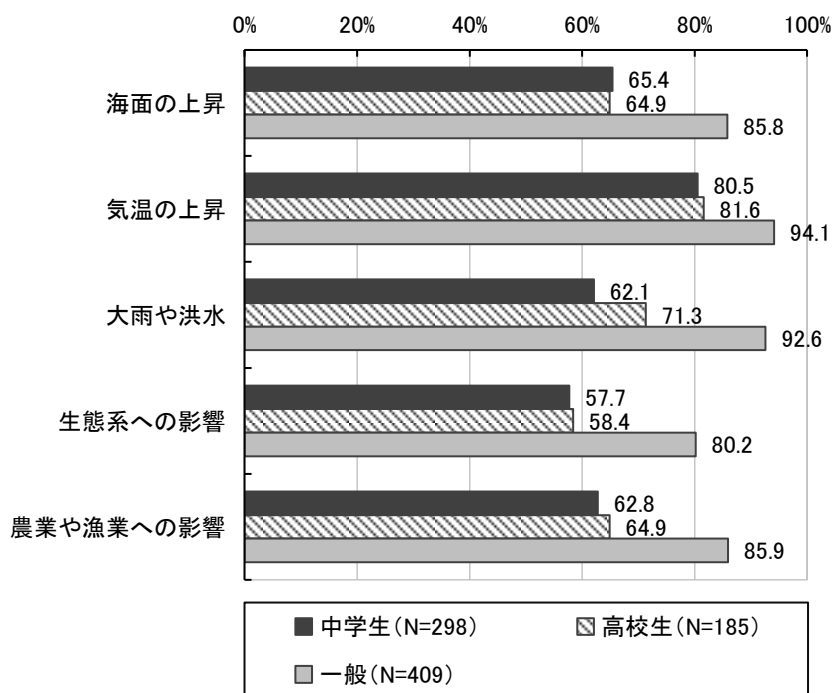
環境問題に関する情報源についてみると、〔中学生〕〔一般〕〔事業所〕では「新聞、テレビ、ラジオ等のメディア」が最も高く、次いで「インターネットやソーシャルネットワーキングサービス」となっています。〔高校生〕では「インターネットやソーシャルネットワーキングサービス」が最も高く、次いで「新聞、テレビ、ラジオ等のメディア」となっています。また、「インターネットやソーシャルネットワーキングサービス」では、〔高校生〕が他よりも1割以上上回っています。



3 地球温暖化が進むことによって及ぼす影響についてあなたはどの程度、心配していますか。(それぞれ1つだけに○)

地球温暖化が及ぼす影響を、どの程度心配しているかについてみると、〔中学生〕〔高校生〕〔一般〕ともに「気温の上昇」が最も高くなっています。次いで〔中学生〕では「海面の上昇」、〔高校生〕〔一般〕では「大雨や洪水」となっています。

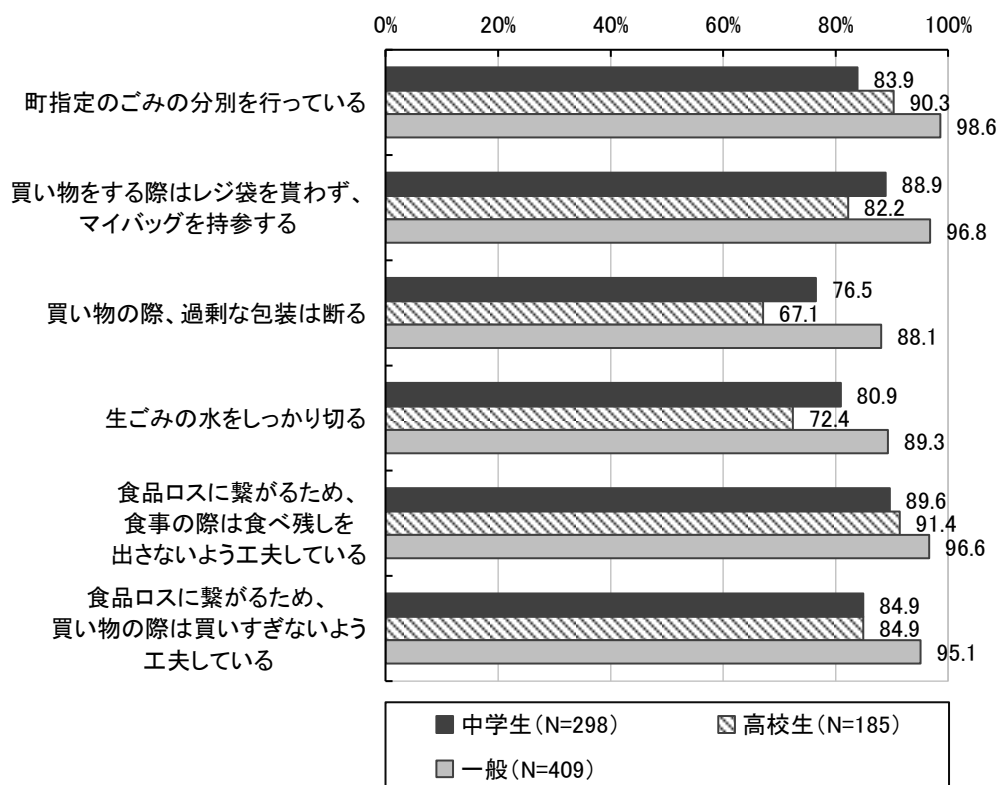
また、〔中学生〕〔高校生〕では「海面の上昇」を除くいずれの項目も同程度の割合となっていますが、〔一般〕ではすべての項目で〔中学生〕〔高校生〕を1～2割程度上回っています。



各調査において『心配（「とても心配」と「やや心配」の合計）』を抽出してグラフを作成している。

4 ごみ減量・資源化は大切な取り組みですが、あなたは日頃、どの程度実施していますか。(それぞれ1つだけに○)

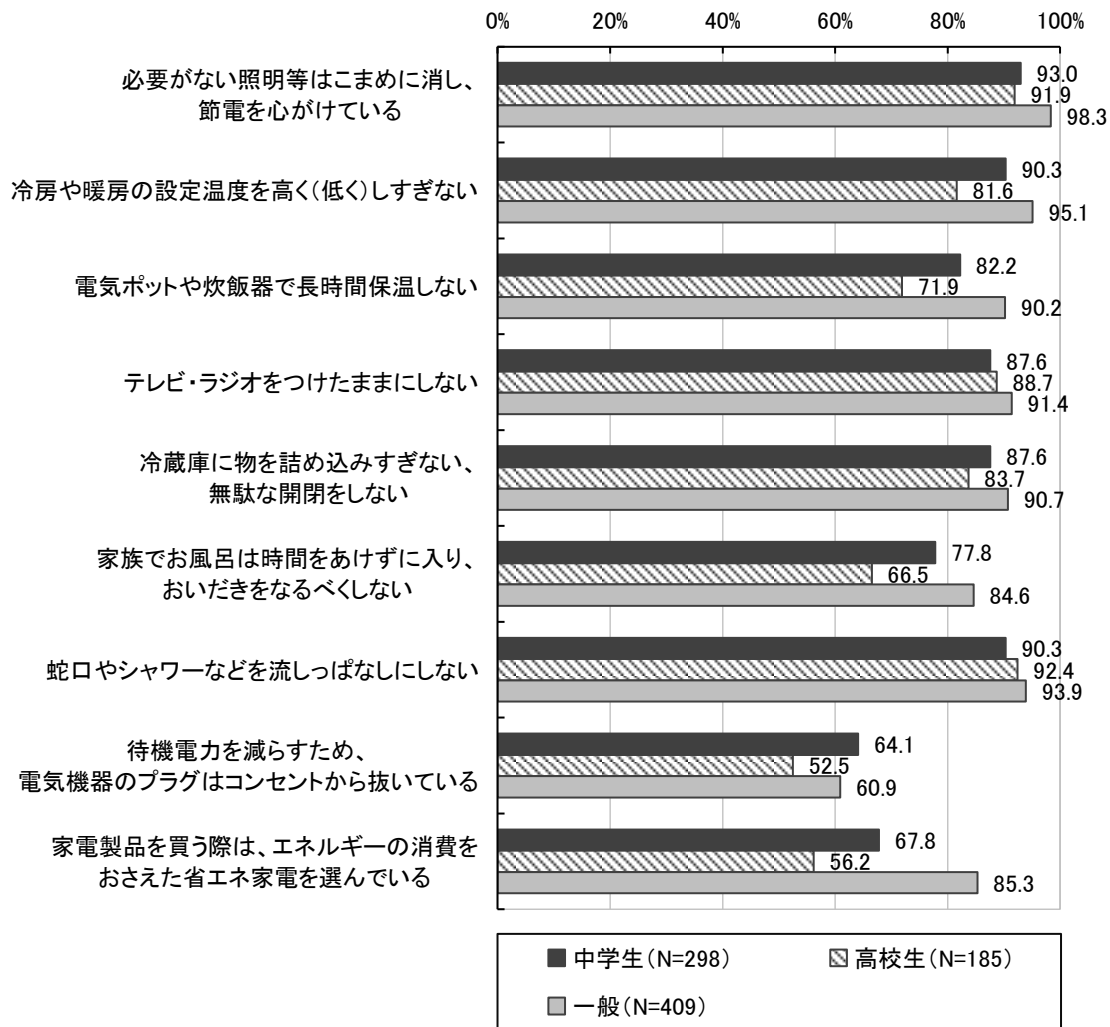
ごみ減量・資源化を日頃どの程度実施しているかについてみると、〔中学生〕〔高校生〕では「食品ロスに繋がるため、食事の際は食べ残しを出さないよう工夫している」、〔一般〕では「町指定のごみの分別を行っている」がそれぞれ最も高くなっています。



各調査において『行っている（「いつも行っている」と「たまに行っている」の合計）』を抽出してグラフを作成している。

5 省エネルギー活動は地球温暖化を防止するうえで大切な取り組みですが、あなたは日頃、どの程度実施していますか。(それぞれ1つだけに○)

省エネルギー活動を日頃どの程度実施しているかについてみると、〔中学生〕〔一般〕では「必要がない照明等はこまめに消し、節電を心がけている」、〔高校生〕では「蛇口やシャワーなどを流しっぱなしにしない」がそれぞれ最も高くなっています。

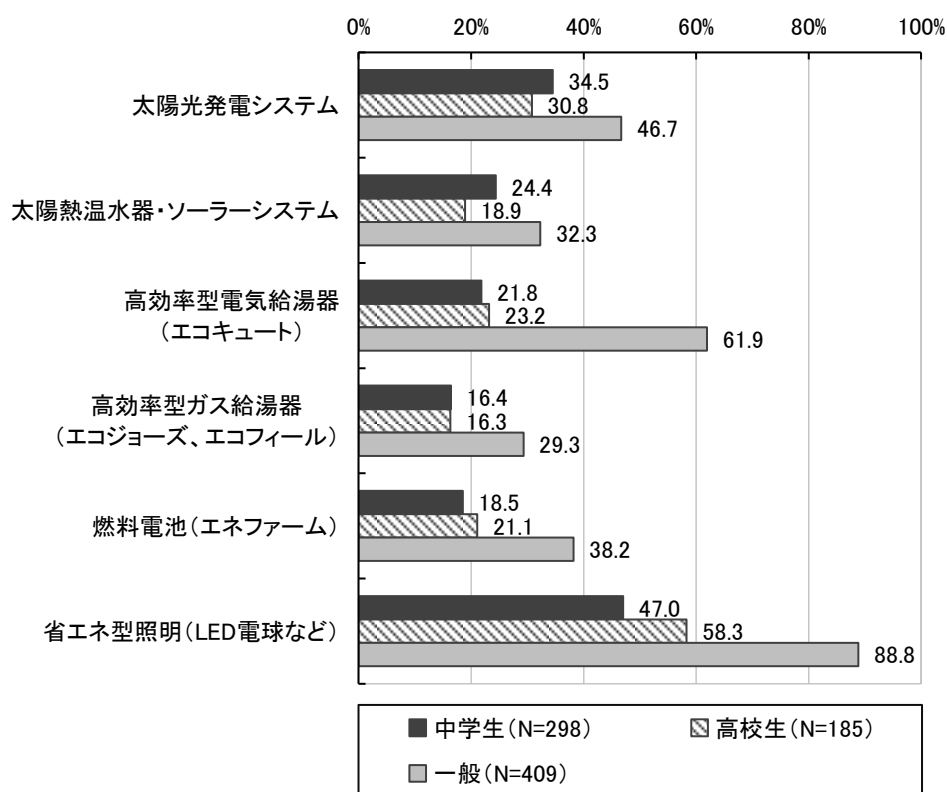


各調査において『行っている（「いつも行っている」と「たまに行っている」の合計）』を抽出してグラフを作成している。

6 ご家庭で、再生可能エネルギー設備や省エネルギー機器を利用していますか。または導入することをお考えですか。(それぞれ1つだけに○)

家庭で再生可能エネルギー設備や省エネルギー機器を導入しているかについてみると、〔中学生〕〔高校生〕〔一般〕ともに「省エネ型照明（LED電球など）」が最も高くなっています。次いで、〔中学生〕〔高校生〕では「太陽光発電システム」、〔一般〕では「高効率型電気給湯器（エコキュート）」となっています。

また、〔一般〕ではすべての項目で〔中学生〕〔高校生〕を上回っており、特に「高効率型電気給湯器（エコキュート）」「省エネ型照明（LED電球など）」ではその差が大きくなっています。

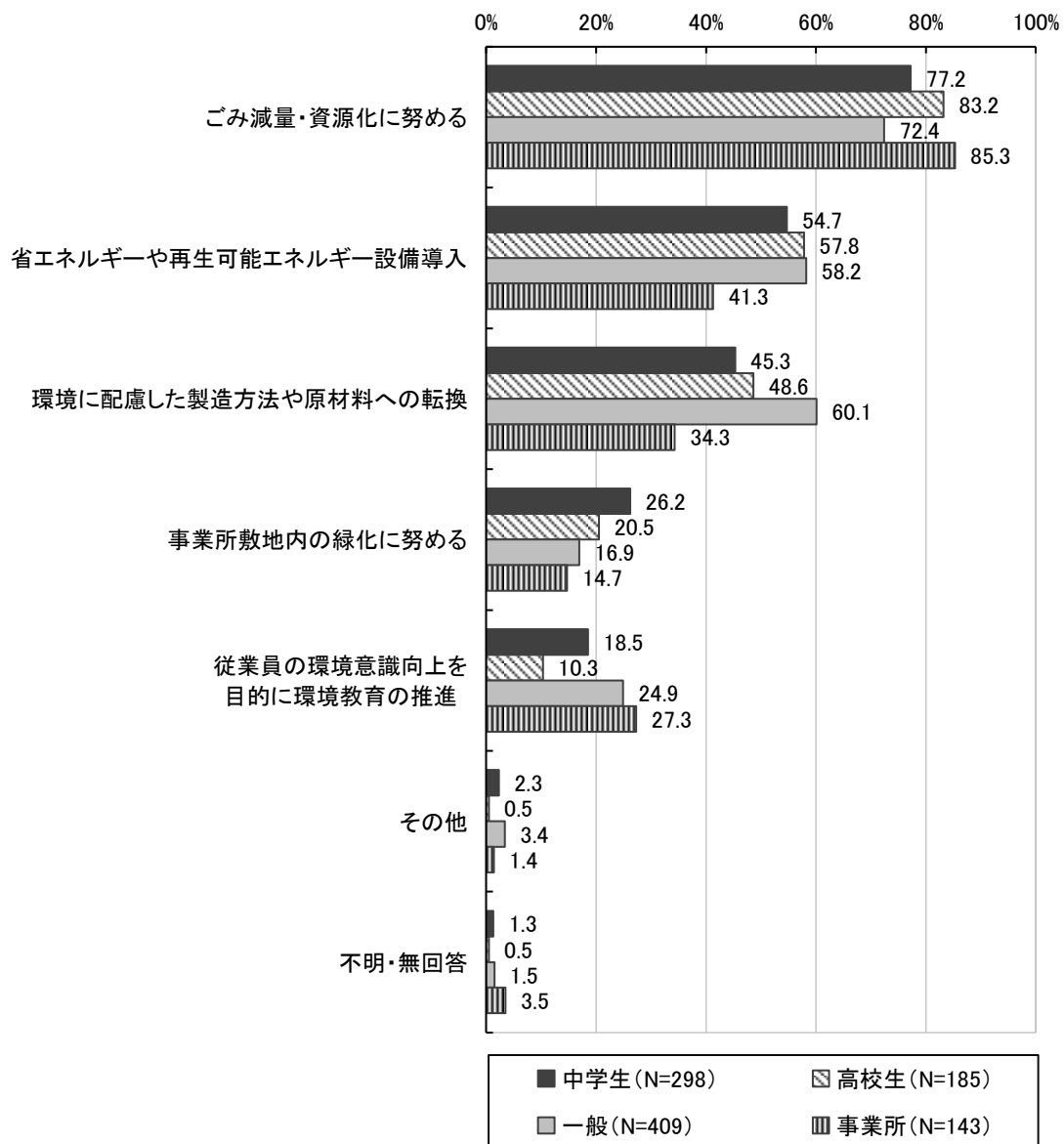


各調査において『「導入している」と「導入していないが、関心がある」の合計』を抽出してグラフを作成している。

7 環境問題について、事業者が特に取り組むべきだと思う施策を次の中から選んでください。(3つまで選択可)

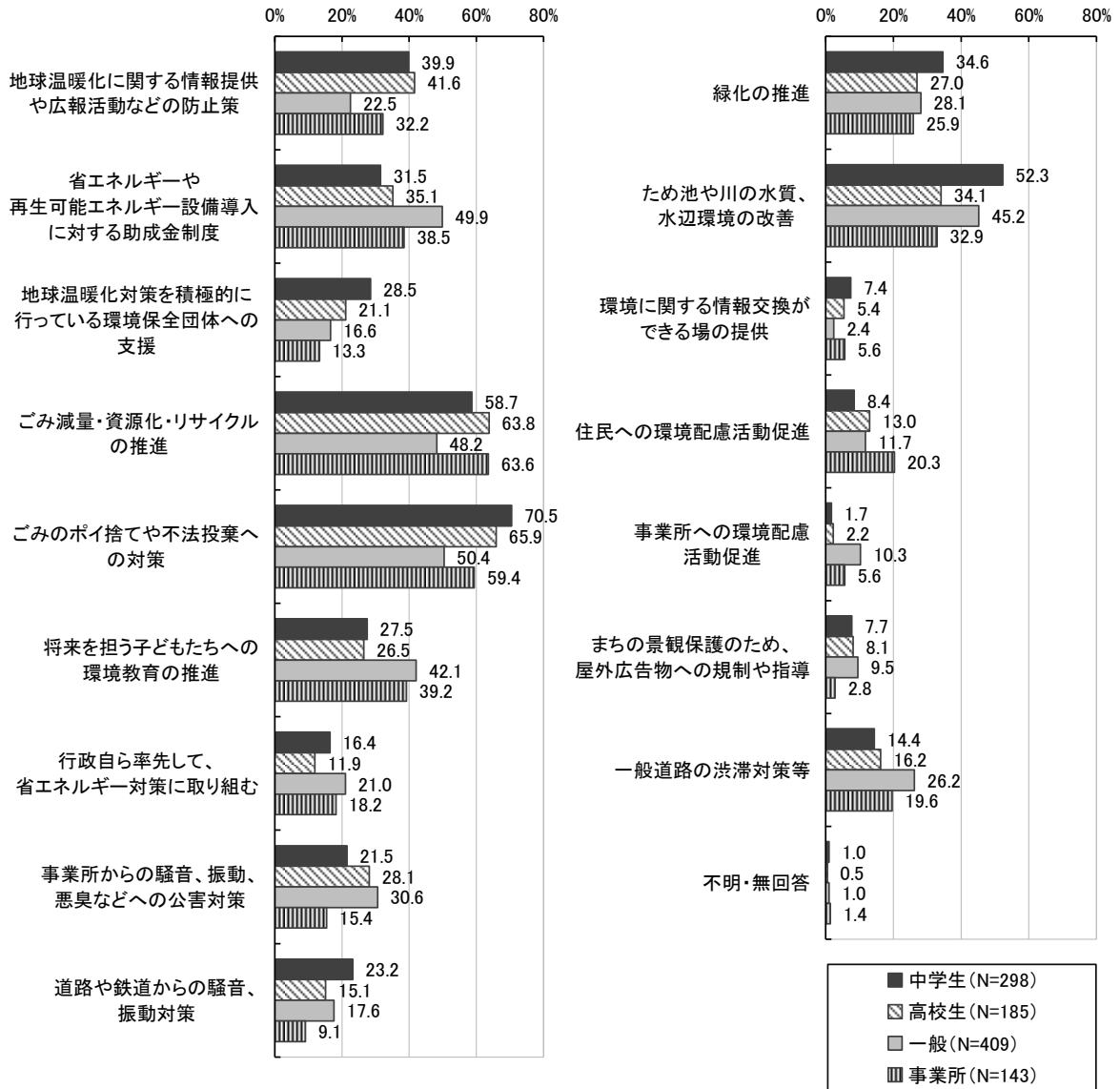
環境問題に対して事業者が特に取り組むべき施策についてみると、〔中学生〕〔高校生〕〔一般〕〔事業所〕ともに「ごみ減量・資源化に努める」が最も高くなっています。次いで〔中学生〕〔高校生〕〔事業所〕では「省エネルギーや再生可能エネルギー設備導入」、〔一般〕では「環境に配慮した製造方法や原材料への転換」となっています。

また、〔事業所〕では「省エネルギーや再生可能エネルギー設備導入」「環境に配慮した製造方法や原材料への転換」が他よりも1割以上低くなっています。



8 環境問題について、行政が特に取り組むべきだと思う施策を次の中から選んでください。(5つまで選択可)

環境問題に対して行政が取り組むべき施策についてみると、〔中学生〕〔高校生〕〔一般〕では「ごみのポイ捨てや不法投棄への対策」、〔事業所〕では「ごみ減量・資源化・リサイクルの推進」が最も高くなっています。



9 播磨町の環境に対する満足度と関心度

中学生問2・一般問6の各項目に対して、「満足度」と「関心度」の関係を分析するため回答結果をそれぞれ点数化しました。

満足度について各調査を比較すると、「空気のきれいさ」では〔中学生〕が〔一般〕を0.5ポイント以上上回っています。また、「まちの清潔さ（犬のフン・ポイ捨て等）」では〔一般〕が〔中学生〕を0.5ポイント以上上回っています。

関心度について各調査を比較すると、すべての項目において〔一般〕が〔中学生〕を上回っており、特に「ため池や川の水のきれいさ」「まちの清潔さ（犬のフン・ポイ捨て等）」「家のまわりの騒音」「一般道路の交通状況」で0.8ポイント以上上回っています。

	満足度		関心度	
	中学生	一般	中学生	一般
空気のきれいさ	2.73	2.21	2.40	3.02
ため池や川の水のきれいさ	1.49	1.88	2.05	2.88
ため池や川の周辺の整備状況	2.06	2.27	2.11	2.88
樹木など緑の豊かさ	2.65	2.51	2.52	2.99
まちなみの美しさ	2.46	2.39	2.44	3.04
まちの清潔さ(犬のフン・ポイ捨て等)	1.39	1.98	2.14	3.24
家のまわりの騒音	2.16	2.15	2.29	3.17
家のまわりのおい	2.66	2.28	2.37	3.12
一般道路の交通状況	2.46	2.17	2.24	3.09
公園の整備状況	2.29	2.47	2.27	2.82
文化財産等の保全状態	2.56	2.59	2.11	2.46
生物多様性	2.42	2.26	2.17	2.41
住民のマナー	2.38	2.22	2.43	3.08

満足度・関心度の点数算出方法は以下の通り。

満足度 = (「とても満足」の件数×4点 + 「まあまあ満足」の件数×3点 + 「どちらともいえない」の件数×2点 + 「あまり満足していない」の件数×1点 + 「満足していない」の件数×0点) ÷ (不明・無回答を除く回答者数)

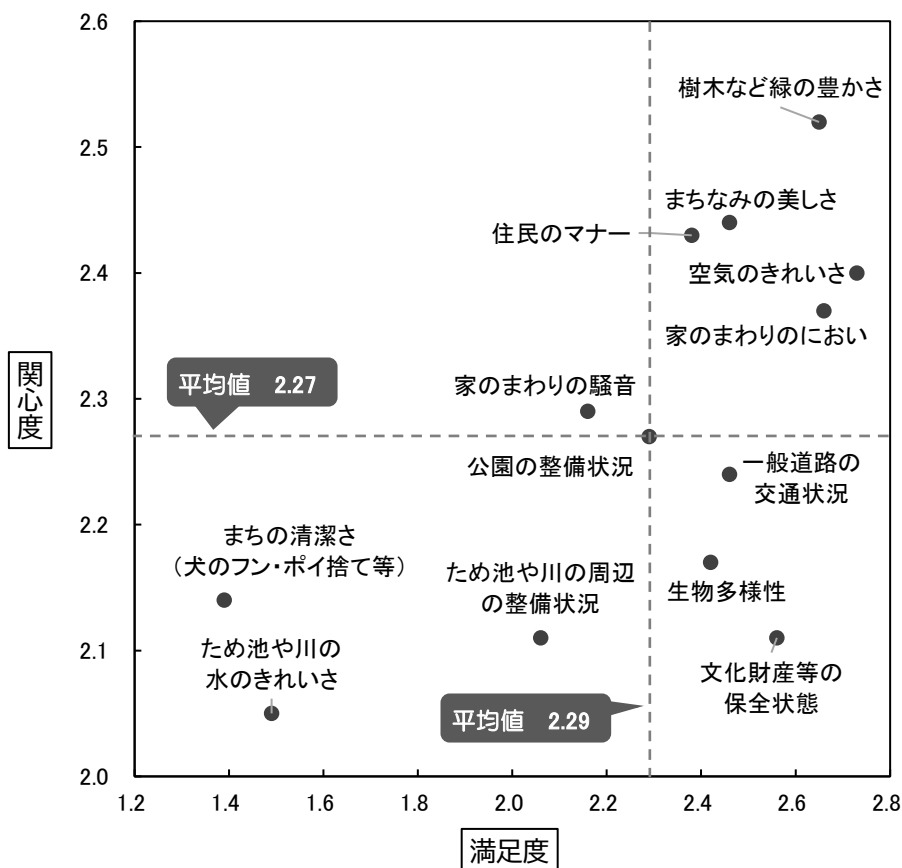
関心度 = (「とても関心がある」の件数×4点 + 「やや関心がある」の件数×3点 + 「どちらともいえない」の件数×2点 + 「あまり関心がない」の件数×1点 + 「関心がない」の件数×0点) ÷ (不明・無回答を除く回答者数)

① 中学生（播磨町の環境に対する満足度と関心度の相関図）

満足度についてみると、「空気のきれいさ」が最も高く、次いで「家のまわりのにおい」、「樹木など緑の豊かさ」となっています。

関心度についてみると、「樹木など緑の豊かさ」が最も高く、次いで「まちなみの美しさ」、「住民のマナー」となっています。

満足度・関心度の平均と比べて共に高い項目は、「樹木など緑の豊かさ」「空気のきれいさ」「住民のマナー」「家のまわりのにおい」「まちなみの美しさ」となっています。また、満足度が平均より低く、関心度が平均より高い項目は、「家のまわりの騒音」となっています。

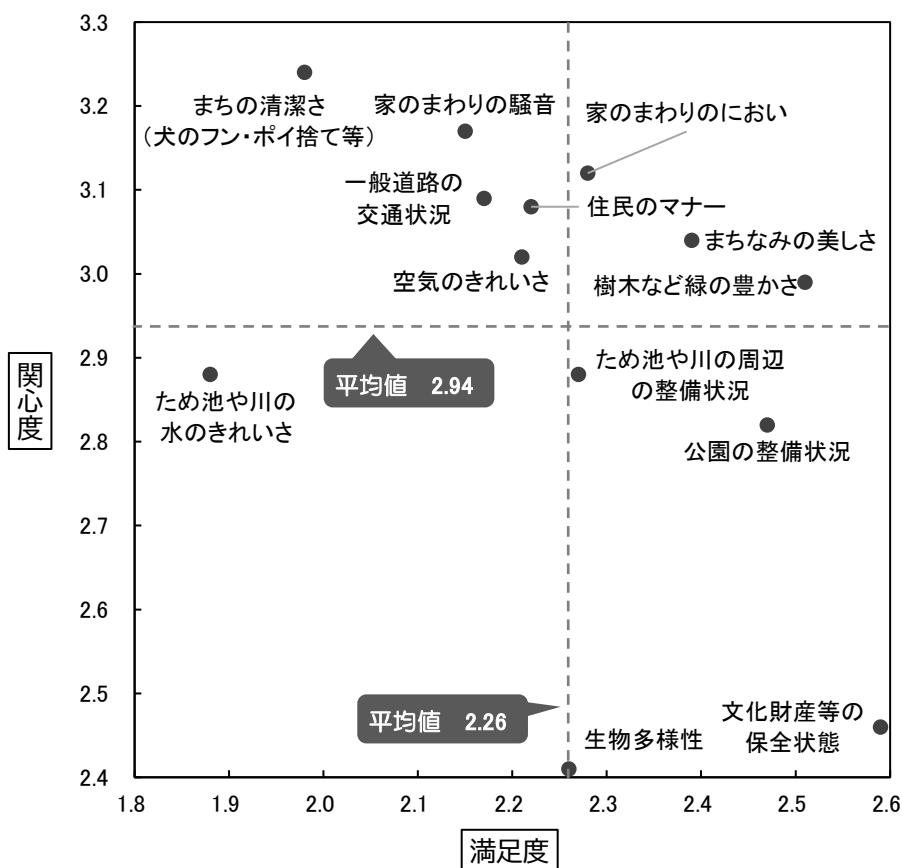


② 一般（播磨町对环境に対する満足度と関心度の相関図）

満足度についてみると、「文化財産等の保全状態」が最も高く、次いで「樹木など緑の豊かさ」、
「公園の整備状況」となっています。

関心度についてみると、「まちの清潔さ（犬のフン・ポイ捨て等）」が最も高く、次いで「家のま
わりの騒音」、「家のまわりのにおい」となっています。

満足度・関心度の平均と比べ、共に高い項目は、「家のまわりのにおい」「まちなみの美しさ」
「樹木など緑の豊かさ」となっています。また、満足度が平均より低く、関心度が平均より高い
項目は、「まちの清潔さ（犬のフン・ポイ捨て等）」「家のまわりの騒音」「一般道路の交通状況」
「住民のマナー」「空気のきれいさ」となっています。



10 地域での環境活動への参加度と関心度

中学生問9・高校生問7・一般問14・事業所問12の各項目に対して、「参加度」と「関心度」の関係进行分析するため回答結果をそれぞれ点数化しました。

参加度について各調査を比較すると、「生物多様性に関する学習会・講演会」では〔中学生〕が最も高く、次いで〔事業所〕となっており、その他のすべての項目では〔事業所〕が最も高くなっています。また、〔高校生〕〔一般〕では学習会・講演会に関する項目が〔中学生〕〔事業所〕と比べ低くなっています。

関心度について各調査を比較すると、「生物多様性に関する学習会・講演会」では〔一般〕が最も高く、次いで〔事業所〕となっており、その他のすべての項目では〔事業所〕が最も高く、次いで〔一般〕となっています。

	参加度				関心度			
	中学生	高校生	一般	事業所	中学生	高校生	一般	事業所
清掃活動	0.79	0.71	1.26	1.31	2.20	2.18	2.54	2.70
資源回収運動	0.80	0.35	0.94	1.08	2.09	1.97	2.53	2.73
ごみ問題に関する学習会・講演会	0.23	0.15	0.08	0.29	1.77	1.75	2.02	2.16
生物多様性に関する学習会・講演会	0.21	0.07	0.04	0.14	1.77	1.79	1.92	1.90
省エネルギーに関する学習会・講演会	0.19	0.09	0.04	0.25	1.73	1.72	2.02	2.26
緑化推進に関する学習会・講演会	0.18	0.06	0.04	0.19	1.80	1.75	2.01	2.15
食品ロスに関する学習会・講演会	0.18	0.07	0.03	0.27	1.80	1.82	2.05	2.19

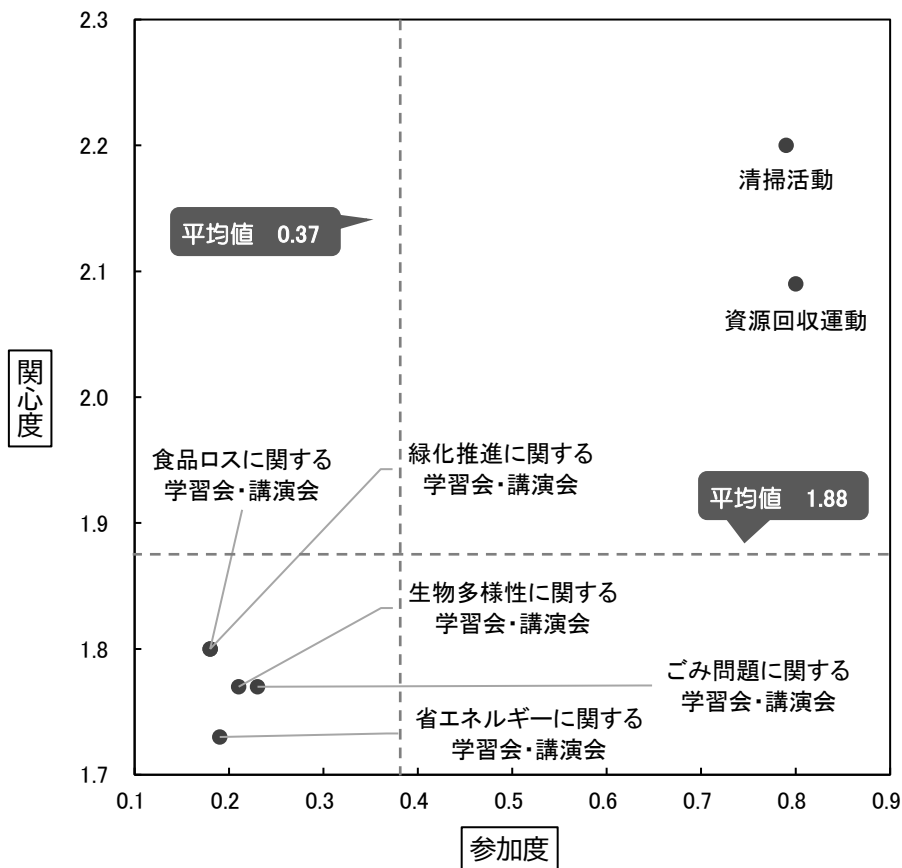
参加度・関心度の点数算出方法は以下の通り。

参加度 = (「いつも参加」の件数 × 2点 + 「たまに参加」の件数 × 1点 + 「参加していない」の件数 × 0点) ÷ (「いつも参加」の件数 + 「たまに参加」の件数 + 「参加していない」の件数)

関心度 = (「とても関心がある」の件数 × 4点 + 「やや関心がある」の件数 × 3点 + 「どちらともいえない」の件数 × 2点 + 「あまり関心がない」の件数 × 1点 + 「関心がない」の件数 × 0点) ÷ (不明・無回答を除く回答者数)

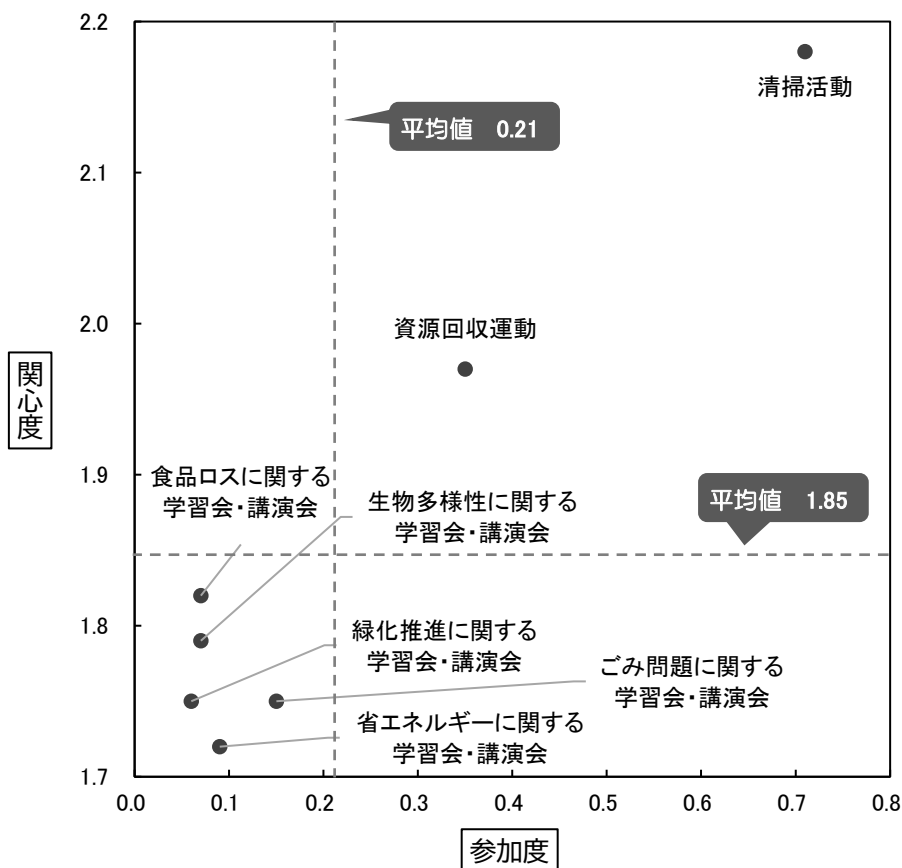
① 中学生（地域での環境活動への参加度と関心度の相関図）

参加度についてみると、「資源回収運動」が最も高く、次いで「清掃活動」となっています。
 関心度についてみると、「清掃活動」が最も高く、次いで「資源回収運動」となっています。
 参加度・関心度の平均と比べ、共に高い項目は、「清掃活動」「資源回収運動」となっています。
 また、その他の項目は満足度・関心度の平均と比べ、共に低くなっています。



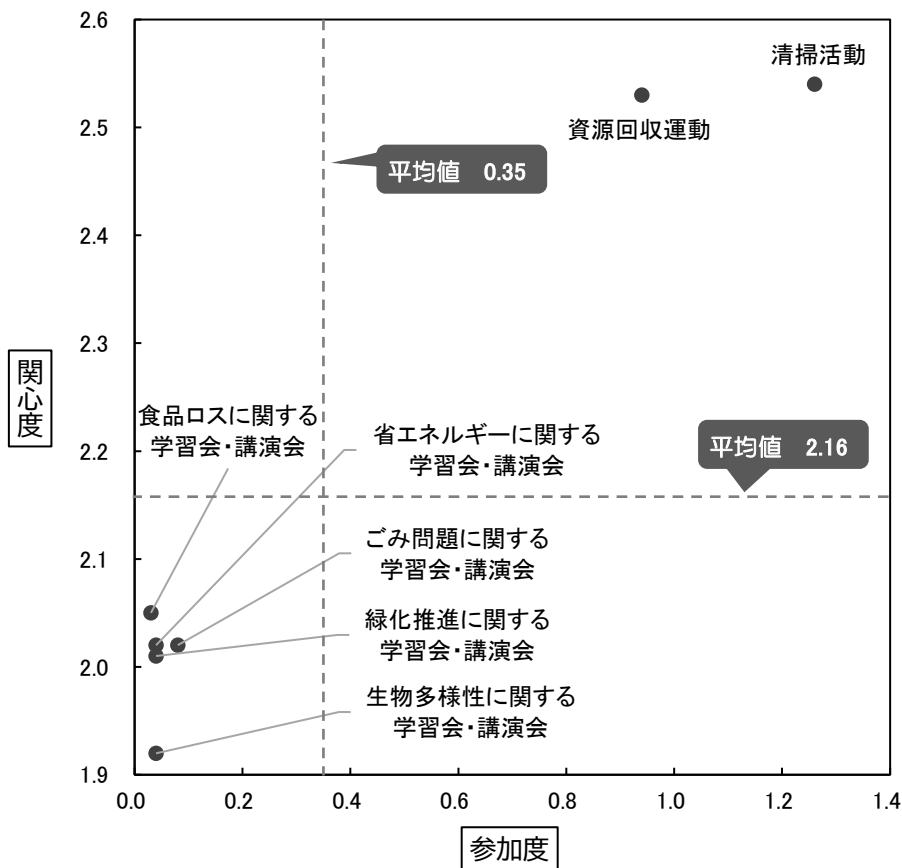
② 高校生（地域での環境活動への参加度と関心度の相関図）

参加度についてみると、「清掃活動」が最も高く、次いで「資源回収運動」となっています。関心度についてみると、「清掃活動」が最も高く、次いで「資源回収運動」となっています。参加度・関心度の平均と比べ、共に高い項目は、「清掃活動」「資源回収運動」となっています。また、その他の項目は参加度・関心度の平均と比べ、共に低くなっています。



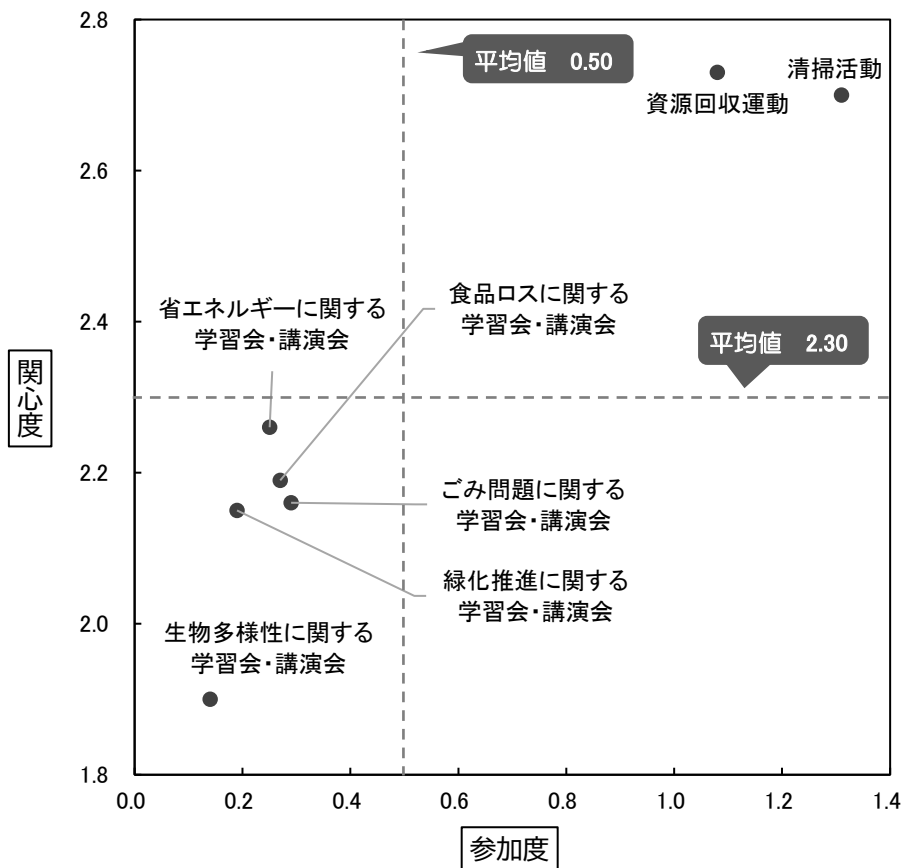
③ 一般（地域での環境活動への参加度と関心度の相関図）

参加度についてみると、「清掃活動」が最も高く、次いで「資源回収運動」となっています。
 関心度についてみると、「清掃活動」が最も高く、次いで「資源回収運動」となっています。
 参加度・関心度の平均と比べ、共に高い項目は、「清掃活動」「資源回収運動」となっています。
 また、その他の項目は参加度・関心度の平均と比べ、共に低くなっています。



④ 事業所（地域での環境活動への参加度と関心度の相関図）

参加度についてみると、「清掃活動」が最も高く、次いで「資源回収運動」となっています。関心度についてみると、「資源回収運動」が最も高く、次いで「清掃活動」となっています。参加度・関心度の平均と比べ、共に高い項目は、「清掃活動」「資源回収運動」となっています。また、その他の項目は参加度・関心度の平均と比べ、共に低くなっています。



播磨町環境基本計画
アンケート調査結果報告書

発行：播磨町すこやか環境グループ

TEL：079-435-2721

FAX：079-435-0831

発行年月：令和2年 10 月